

2014 消防年報

第64号



一宮市消防本部

一 目 統 計

			
面積・人口・世帯数	予 算	署 所	消防職員
面積 113.91Km ² 人口 386,429人 世帯数 150,754世帯 平成26年4月1日現在	一般会計予算 105,443,000千円 消防予算 3,453,097千円 平成26年度予算	消防本部 1 消防署 3 分署 1 出張所 9 平成26年4月1日現在	条例定数 395人 現員数 387人 平成26年4月1日現在

		
消防団員	消 防 車 両	1 1 9 番受信
条例定数 589人 現員数 502人 平成26年4月1日現在	タンク車 18台 ポンプ車 1台 救急車 14台 はしご車 2台 救助工作車 2台 化学車 2台 その他 28台 合 計 67台 平成26年4月1日現在	火 災 180件 救 急 14,557件 その他 7,772件 合 計 22,509件 平成25年中

			
火 災	出火原因	救 助	救 急
建 物 51件 車 両 12件 その他 24件 合 計 87件 平成25年中	1位 たばこ 14件 2位 こんろ 10件 3位 放火 7件 4位 たき火 5件 平成25年中	出動件数 193件 活動件数 88件 救助人員 86人 平成25年中	出動件数 15,674件 搬送人員 14,874人 平成25年中

			
音 楽 隊	査察対象物	危険物施設	消防クラブ会員
隊員数 38人 演奏回数 34回 平成25年度中	特定対象物 1,650か所 非特定対象物 2,502か所 平成26年4月1日現在	製造所 3か所 貯蔵所 299か所 取扱所 173か所 平成26年4月1日現在	幼年 10,507人 少年 7,661人 婦人 408人 平成26年4月1日現在

一宮市民憲章

平成 19 年 3 月 28 日制定

わたしたちのまち一宮市は、木曽の清流と豊かな濃尾平野にはぐくまれ、先人のたゆまぬ努力により、繊維を中心として発展してきました。

わたしたちは、このまちの市民であることに誇りを持ち、互いに手をたずさえて、未来へはばたく「心ふれあう躍動のまち一宮」をつくることをめざし、ここにこの憲章を定めます。

1. **い**のちを大切にし、

だれもが安心して暮らせる 福祉のまちをつくります。

1. **ち**きゅうを愛し、

自然も人も共生できる 住みよいまちをつくります。

1. **の**びやかに青少年が育ち、

個性を生かす 教育と文化のまちをつくります。

1. **み**どり豊かなふるさとを守り、

活力ある産業のまちをつくります。

1. **や**さしさと思いやりに満ち、

夢と希望があふれるまちをつくります。

は　じ　め　に

本市消防は、関係機関の皆様の暖かいご支援とご協力により、着実に発展を遂げ、地域に密着した防災機関として、市民の皆様からも多大なる信頼と期待を受け、時代とともに変貌する各種災害に対し、的確に対応できる消防体制の充実強化に努めてまいりました。

しかしながら、東日本大震災をはじめ、大規模化している自然災害、都市化に伴い複雑化していく災害、また、放射性物質の流出など多様な事案が発生している中、単一の自治体での対応の枠を超え、複数の自治体同士の相互応援による対応が求められてきています。

また、人為的に発生する事故、国際的なテロリズムによる災害の発生が危惧される中、市民の生命・財産を守る消防の役割はますます重要となり、消防体制のさらなる充実強化が必要となっております。

このような環境下において、本市消防といたしましても消防体制のさらなる充実強化を目指し、新市の基本理念である「安心・元気・協働」のもとに、心ふれあう、安全、安心なまちづくりに努力する所存であります。

本書は、平成 26 年 4 月 1 日現在における消防体制及び平成 25 年中の火災等の実態を取りまとめて収録したものであります。

ご高覧を賜り、本市消防行政の一層の飛躍に向け、皆様のご理解を深めていただくための一助としていただければ幸いと存じます。

平成 26 年 7 月

一 宮 市 消 防 本 部

平成26年度 全国統一防火標語

もういいかい 火を消すまでは まあただよ

平成24・25年度 一宮市防火標語

気を抜いた あなたを見てる 炎の目

一宮市住宅用火災警報器の設置促進標語

あっ！！火事だ！！

「にげろ」のめざまし じゅうけいき

目 次

I 総 括

市の概要	1
一宮市の人口・世帯数	2
消防機関の配置	3
消防のあゆみ	4
消防の主な行事	6
消防情勢の推移	8
消防本部・消防署の組織	10
消防本部・消防署の事務分掌	11
消防団の組織	12
消防本部・消防署の庁舎現況	13
消防団の庁舎現況	14
消防本部・消防署車両の現勢	16
消防団車両の現勢	19
消防音楽隊のあゆみ	20
消防音楽隊の編成	22
消防音楽隊の活動状況	22

II 総 務

当初予算の推移	23
決算額と構成の推移	23
消防職員の配置	24
消防職員の年齢	26
消防職員の勤続年数	26
消防職員資格等保有状況	27
消防職員教育研修状況	28
災害防止	29
安全管理	29
消防協力者表彰	29
施設・装備充実事業	30

III 通 信 ・ 気 象

指令施設系統図	31
無線施設	32
指令回線等一覧表	33

月別 119 番受信状況	34
携帯電話からの月別 119 番受信状況	35
月別気象状況	36
一宮市の警報・注意報発表基準	36

IV 消防団

消防団の現況	37
消防団及び消防団員の状況	37
消防団の活動状況	37
年報酬額	38
費用弁償	38
消防団員の退職状況	38
消防団員の新任状況	38
消防団員の職業構成と就業形態	38
消防団員の年齢	39
消防団員の勤続年数	40

V 予防

火災予防普及活動状況	41
幼年・少年・婦人消防クラブの現況	41
街頭消火器設置状況	42
街頭消火器火災使用状況	43
査察対象物数	44
中高層建築物数	45
各種届出件数	46
用途別同意建築物数	47
危険物施設数	48
指定数量の倍数・類別危険物施設数	49
危険物施設の設置・変更許可等	50
タンク検査状況	50
危険物施設届出等状況	50

VI 火災

火災の概況	51
出火原因	52
建物用途別・原因別件数	53
月別等の火災件数	54
過去 10 年間の火災発生件数	56

VII 警 防

消 防 車 両 の 配 置 状 況	5 7
高 速 道 路 の 火 災	5 8
災 害 種 別 の 出 動 状 況	5 9
消 防 活 動 用 資 機 材 の 配 置	6 0
月 別 庁 外 業 務 活 動 状 況	6 2
消 防 水 利 の 現 況	6 3
応 援 協 力 計 画	6 4
緊 急 消 防 援 助 隊 の 概 要	6 4

VIII 救 急 ・ 救 助

過 去 1 0 年 間 の 救 急 活 動 状 況	6 5
曜 日 ・ 月 別 救 急 出 動 件 数	6 6
曜 日 ・ 月 別 救 急 搬 送 人 員	6 7
地 区 別 救 急 出 動 件 数	6 8
地 区 別 救 急 搬 送 人 員	6 8
現 場 到 着 所 要 時 間 別 救 急 出 動 件 数	6 9
収 容 所 要 時 間 別 救 急 搬 送 人 員	6 9
年 齢 区 分 ・ 傷 病 程 度 別 救 急 搬 送 人 員	7 0
救 急 高 度 化 の 推 移	7 1
救 急 隊 員 の 行 っ た 応 急 処 置 等 件 数	7 2
高 速 道 路 の 救 急 活 動 状 況	7 4
応 急 手 当 等 の 普 及 活 動 状 況	7 5
救 助 活 動 状 況	7 6
月 別 救 助 出 動 状 況	7 7
過 去 5 年 間 の 救 助 活 動 状 況	7 7
救 助 訓 練 等 実 施 状 況	7 8



総括

市の概要

一宮市は、広大な濃尾平野のほぼ中央に位置し、温和な気候、風土に恵まれ、早くから発展してきました。

大正 10 年 9 月 1 日に市制を施行、昭和 15 年に葉栗村、西成村と合併して市域を拡大し、近代都市としての形態を整えるに至りました。

そして、昭和 30 年 1 月に丹陽村と浅井町、4 月に北方村、大和町、今伊勢町、奥町、萩原町、千秋村とそれぞれ合併し、さらに平成 17 年 4 月に尾西市、木曽川町と合併し現在の 113.91 k m²の都市が実現しました。

平成 26 年 4 月 1 日現在、人口 386,429 人、世帯数 150,754 世帯となり、市北部から西部へと約 18 キロメートルにわたって接する木曽川がはぐくんだ豊かな自然や、これまで蓄積された歴史・文化を礎に、安心・元気・協働の基本理念のもと、「木曽の清流に映え、心ふれあう躍動都市 一宮」を将来像としたまちづくりを目指し躍進を続けています。

愛 知 県



■位 置：北緯 35 度 18 分、東経 136 度 48 分

■面 積：113.91k m²

東西 15.3km、南北 13.3km

■人 口：386,429 人

男 189,331 人 女 197,098 人

■世 帯 数：150,754 世帯

■人口密度：3,392 人/k m²

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

■Location : Lat. 35° 18' N&Long. 136° 48' E

■Area : 113.91k m²

East-West : 15.3km、North-South : 13.3km

■Population : 386,429 people ;

Male:189,331 people,Female:197,098 people

■Number of households : 150,754 households

■Population density : 3,392 people/k m²

(As of April. 1. 2014)

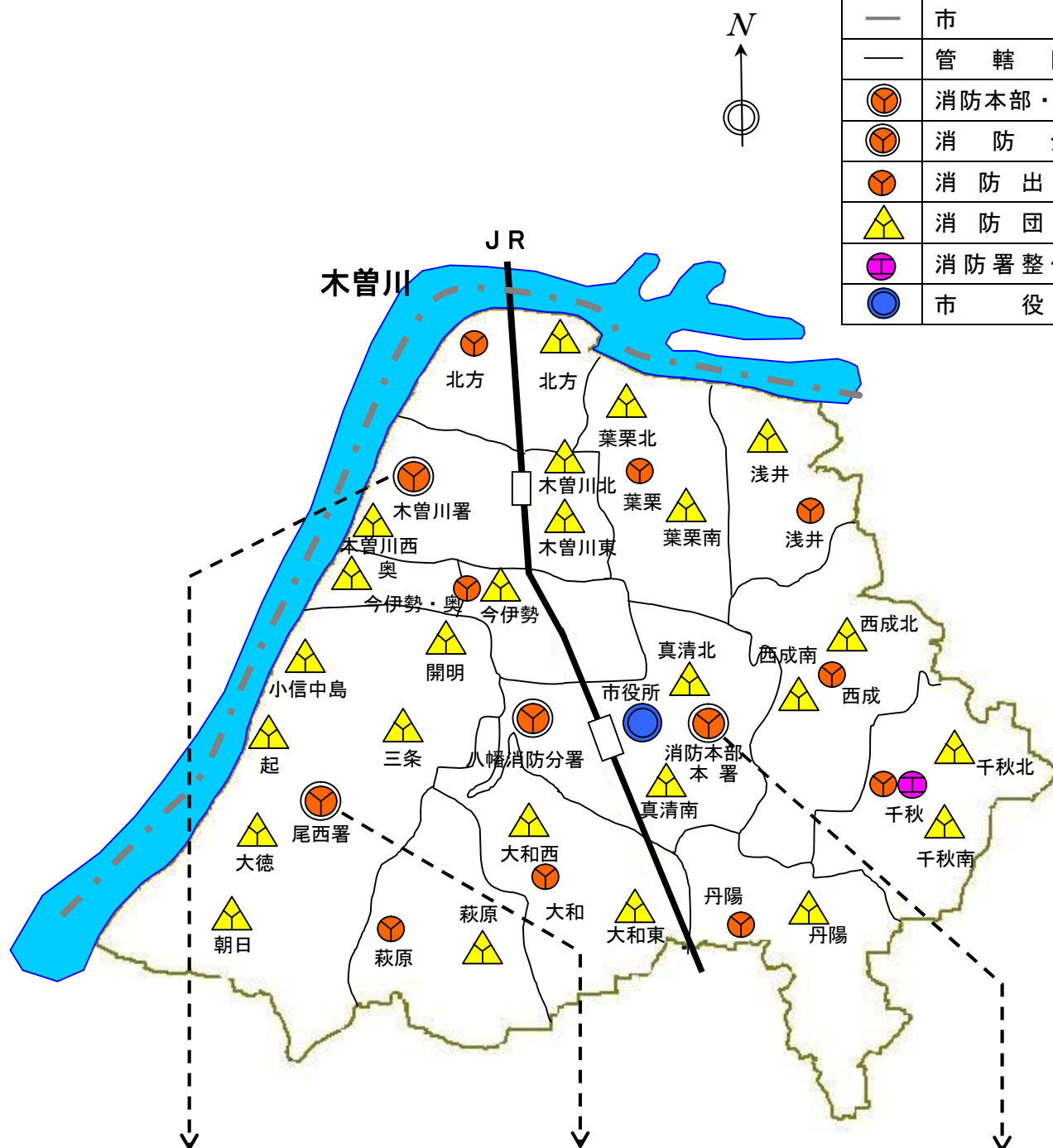
一宮市の人口・世帯数

平成26年4月1日現在

区 分	世 帯 数	人 口		
		総 数	男	女
合 計	150,754	386,429	189,331	197,098
宮 西	4,600	11,250	5,415	5,835
貴 船	4,936	12,195	5,921	6,274
神 山	6,742	15,479	7,529	7,950
大 志	2,258	5,227	2,477	2,750
向 山	3,787	8,990	4,426	4,564
富 士	4,079	9,555	4,631	4,924
葉 栗	6,376	17,280	8,479	8,801
西 成	13,447	35,102	17,245	17,857
丹 陽 町	11,222	27,910	14,095	13,815
浅 井 町	7,891	20,628	10,076	10,552
北 方 町	3,700	10,079	4,936	5,143
大 和 町	16,936	42,103	20,657	21,446
今 伊 勢 町	10,438	26,090	12,831	13,259
奥 町	5,266	14,300	6,962	7,338
萩 原 町	7,205	19,109	9,251	9,858
千 秋 町	6,356	17,582	8,630	8,952
起	1,361	3,420	1,672	1,748
小 信 中 島	4,048	10,913	5,338	5,575
三 条	5,139	13,212	6,395	6,817
大 徳	3,905	10,488	5,136	5,352
朝 日	4,875	13,159	6,464	6,695
開 明	3,222	8,485	4,142	4,343
木 曽 川 町	12,965	33,873	16,623	17,250

消防機関の配置

凡 例		
---	県	境
—	市	境
—	管 轄 区 域	
	消防本部・消防署	
	消 防 分 署	
	消 防 出 張 所	
	消 防 団 庁 舎	
	消 防 署 整 備 工 場	
	市 役 所	



木曽川消防署



尾西消防署



消防本部・本署

消防のあゆみ

昭和23年3月(一)	消防組織法施行により一宮市消防本部を創設し、従来の常備消防部を消防署に昇格
昭和23年3月(木)	消防組織法施行により警察機関から分離した消防団発足
昭和25年11月(一)	消防庁舎(旧庁舎)が新柳通1の29地内(現本町1丁目)に完成
昭和25年12月(一)	市を縦断する東海道線の西部地区警備体制強化のため、八幡出張所を開所
昭和30年1月(尾)	中島郡起町と朝日村が合併し市制を施行、尾西市が誕生と同時に尾西市消防団を設置、1団制6分団、消防ポンプ自動車6台、団員195名で発足
昭和30年4月(尾)	尾西市に中島郡今伊勢町開明地区を編入、境界変更に伴い消防団を再編、1団制7分団、消防ポンプ自動車7台、団員227名で再発足
昭和33年9月(一)	消防署に救護隊を新設し救急業務を開始
昭和33年10月(尾)	市総務課に中短波無線電話を設置
昭和35年4月(一)	奥出張所を奥町字下口西地内に開所
昭和35年9月(尾)	市総務課に職員7名をもって常備消防体制が発足
昭和35年10月(尾)	尾西市消防本部設置条例を制定
昭和35年12月(一)	萩原出張所を萩原町萩原地内に開所
昭和36年9月(一)	浅井出張所を浅井町東浅井地内に開所 東部出張所を千秋町佐野地内に開所 なお敷地内に整備工場を併設し、業務を開始
昭和37年4月(尾)	消防本部職務規則を制定し救急業務開始
昭和37年9月(一)	南部出張所を丹陽町猿海道地内、北部出張所を大字更屋敷地内に開所
昭和39年3月(尾)	昭和35年制定の消防本部設置条例を廃止し、新たに消防本部・署設置条例を制定
昭和39年9月(尾)	昭和37年制定の消防本部職務規則を廃止し、新たに消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を制定
昭和40年6月(尾)	消防庁舎が東五城地内に完成(旧庁舎)
昭和43年4月(一)	消防庁舎(本部・本署)が花祇通6丁目(現庁舎)に完成
昭和43年4月(木)	政令指定により消防本部(署)発足・消防庁舎(旧庁舎)完成
昭和45年2月(木)	救急車(兼広報車)を購入し救急業務開始
昭和53年5月(木)	消防庁舎が黒田地内に完成(現木曾川署)
昭和55年1月(一)	大和出張所を大和町荻安賀地内に開所
昭和57年1月(一)	西成出張所を大字西大海道地内に開所
昭和57年6月(尾)	消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を改正し、消防本部は庶務係、消防係、予防係の3係、消防署は警備第1・2係、通信第1・2係、整備係の5係
昭和61年1月(一)	今伊勢消防出張所を今伊勢町馬寄地内に開所 出張所の名称が変更され、南部出張所が丹陽出張所に、東部出張所が千秋出張所になり、出張所の名称を「消防出張所」と改称
昭和62年3月(一)	葉栗消防出張所を大字大毛地内に救急業務を主体として開所
昭和63年1月(一)	消防署八幡消防分署に部隊を増強、東西の出動体制を確立
昭和63年12月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則・規程を新たに制定
平成元年10月(一)	大和消防出張所に救急隊を配置
平成元年11月(尾)	消防庁舎が西五城地内に完成(現尾西署)消防緊急通信指令施設(I型)及び消防団緊急伝達システム運用開始

平成2年3月	愛知県下広域消防相互応援協定締結
平成2年4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課を新設、従来の管理課を総務課と改称
平成2年5月	尾張西北部地区消防相互応援協定締結
平成3年4月(一)	北部消防出張所が北方消防出張所になり、北方町北方地内に開所 葉栗消防出張所に消防隊を配置
平成4年3月(一)	消防緊急通信指令システムを導入し、情報連絡体制を確立 市民への防災思想普及を目指し「一宮市民防災センター」を開所
平成5年3月(木)	消防緊急通信指令施設(Ⅰ型)を運用開始
平成5年4月(尾)	消防本部の組織に関する規則を改正、消防署の組織に関する規程を改正
平成5年4月(一)	救急救命士1名、救急Ⅱ課程修了者3名により、高規格救急自動車の運用開始
平成5年8月(一)	救急救命率向上を目指し、生体情報伝送装置を導入
平成7年6月(一)	緊急消防援助隊発足 本市消防は救急部隊を編成登録
平成8年1月(木)	消防庁舎車庫増築、救急救命士2名により高規格救急自動車運用開始
平成9年3月(一)	浅井消防出張所を浅井町小日比野地内に移転
平成10年12月(一)	千秋消防出張所を千秋町佐野字加村地内に移転
平成11年4月(一)	東海北陸自動車道の開通に伴い、葉栗消防出張所に救助隊を配置
平成12年11月(尾)	聴覚障害者用119番受信ファクシミリの導入
平成13年4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課を予防係と防災係に分化
平成14年3月(尾)	消防緊急通信指令施設(Ⅰ型)を更新
平成14年4月(一)	千秋消防出張所に救急隊を配置し、救急隊7隊すべて高規格救急自動車で運用
平成14年4月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則を改正し予防係を予防防災係、警備係を火災救助係とした。
平成15年4月(一)	緊急消防援助隊に消火部隊を編成登録、救急部隊を追加編成登録
平成16年8月	市町合併を前に消防緊急通信指令システムを更新し、一宮市消防本部と木曽川町消防本部が共同通信運用開始
平成17年4月	一宮市、尾西市、木曽川町との合併に伴い、一宮市消防本部はそのまま、旧尾西市消防本部は尾西消防署、旧木曽川町消防本部は木曽川消防署に名称変更
平成19年4月	一宮市消防団3団(一宮・尾西・木曽川)の報酬、費用弁償、階級を統一
平成20年4月	一宮市消防団3団の連合を一団に統合
平成21年4月	八幡消防分署に特別救助隊を、丹陽消防出張所に救急隊を配置 女性消防吏員を初採用 一宮市消防団第7方面隊(木曽川)を再編、30分団を26分団とした。
平成23年4月	萩原消防出張所庁舎移転に伴い、救急隊を配置 尾西消防署に特別消防隊を配置
平成24年3月	消防緊急通信指令システム部分更新
平成24年4月	一宮市消防団を再編、26分団を25分団、7方面隊を4方面隊とし、尾西地区の分団名称を変更
平成25年4月	今伊勢消防出張所と奥消防出張所の統合に伴い、今伊勢・奥消防出張所を開所し、救急隊を配置

※ (一)旧一宮市消防本部 (尾)旧尾西市消防本部 (木)旧木曽川町消防本部

消防の主な行事

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

平成25年

4月	3日	火災予防パレード	本町商店街
	7日	一宮市消防団員任命式	消防本部
	15・22日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
5月	1・2日	潜水基本技術訓練	航空自衛隊小牧基地体育訓練施設
	3～5日	リバーサイドフェスティバル	138タワーパーク
	8・9日	救命ボート取扱操縦訓練	北方町北方字神明地内 木曽川
	13日	消防本部安全衛生委員会	消防本部
	18日	貴船連区45町内会、富士連区36町内会防災訓練	天道公園
	21日	岐阜県防災航空隊及び3消防本部合同水難救助訓練	羽島市正木町地内 木曽川右岸
	21・22日	第1回甲種防火管理新規講習会	消防本部
	22日	尾張西北部消防合同水難救助訓練	稲沢市祖父江町地内 木曽川左岸
	23・24日	第2回甲種防火管理新規講習会	消防本部
	26日	愛知県尾張水害予防組合水防・防災訓練	光明寺地先木曽川南派川左岸河川敷
6月	4日	一宮警察署・一宮市消防本部合同災害警備訓練(風水害)	富田字砂原地内 木曽川左岸
	5日	危険物施設消防訓練	日進化成株式会社中部支店
	9日	第13回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサート	一宮市民会館
	9日	今伊勢町連区防災訓練	今伊勢西小学校
	16日	第9回一宮市消防団警防技術発表会	尾西第三中学校
	18・29日	救命ボート取扱操縦訓練	北方町北方字神明地内 木曽川
	20日	危険物講習会	消防本部
	24・25日	潜水各種検索訓練	富田字砂原地内 木曽川左岸
7月	1・2日	水面救助訓練(救命策発射銃訓練含む)	北方町北方字神明地内 木曽川
	12日	電気自動車(EV)救助研修	木曽川消防署
	25日	消防職員委員会	消防本部
	31日	少年消防クラブ員県消防学校一日入校 (奥,末広,丹陽西,丹陽南小)	愛知県消防学校
8月	2・3日	一般教養「消防職員のための筋力トレーニングについて」	消防本部
	5・8日	集団災害図上訓練	消防本部
	10日	第58回愛知県消防操法大会	西尾市
	19日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	27日	緊急消防援助隊愛知県隊尾張ブロック実動訓練	尾西消防署、小牧市
9月	1日	浅井町連区防災訓練	浅井中学校
	1～4日	水面救助訓練(警防隊及び救助隊)	一宮市尾西プール
	2・4日	潜水基本技術訓練	一宮市尾西プール
	4日	列車事故を想定した訓練	東加賀野井字川原地内
	12・13日	日光川を使用した水難救助訓練	萩原町戸荻及び明地地内 日光川付近一帯
	15日	小信中島連区防災訓練	小信中島小学校
	24日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	25日	二市消防合同水難救助訓練	富田字砂原地内 木曽川左岸
	28日	神山連区防災訓練	中部中学校
10月	12日	きて・みて・たいけん消防21	138タワーパーク
	16日	消防本部安全衛生委員会	消防本部
	18・19日	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練	消防本部,尾張一宮パーキングエリア,碧南市
	21日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	27日	奥町連区防災訓練	奥小学校
	27日	千秋町連区防災訓練	千秋中学校
11月	1～20日	児童防火作品入賞作品展示 ※ 11月22日～12月9日 中央図書館(尾張一宮駅前ビル5階児童図書エリア)にて展示	市民防災センター

	2日	全国少年消防クラブ表彰	木曽川西小学校
	2日	車両構造講習会及び訓練会	東海旅客鉄道株式会社名古屋工場
	3日	一宮市消防団観閲式	尾西河川敷グラウンド
	7日	警察等合同危険物車両路上立入検査	毛受地内主要地方道岐阜稲沢線
	8日	秋季火災予防運動消防訓練	コナミグループ一宮事業所
	10日	第35回一宮市消防音楽隊定期演奏会	一宮市民会館
	10日	萩原町連区防災訓練	萩原小学校
	10日	北方町連区防災訓練	北方小学校
	10日	開明連区防災訓練	開明小学校
	13・14日	第1回警防技術発表会	尾西消防署
	17日	向山連区防災訓練	向山小学校
	17日	大徳連区防災訓練	尾西消防署
	19・20日	第3回甲種防火管理新規講習会	消防本部
	24日	起連区防災訓練	起小学校
	26・27日	第4回甲種防火管理新規講習会	消防本部
12月	2・3日	ドライスーツを使用した潜水訓練	航空自衛隊小牧基地体育訓練施設
	3日	女性消防クラブ指導者科入校（向山連区婦人消防クラブ）	愛知県消防学校
	5・6日	調整池を使用した低所救助訓練	東海北陸自動車道高架下 木曽川調整池
	8日	三条連区防災訓練	三条小学校
	13～19日	年末特別査察	
	13日	テラスウォーク一宮、一宮ニッケ・コーナンプラザ	
	16日	バロー一宮西店、ピアゴ妙興寺店	
	17日	名鉄百貨店一宮店	
	18日	エディオン一宮本店、アピタ木曽川店	
	19日	イオンモール木曽川、ピアゴ大和店	
	15日	起分団庁舎竣工式	起分団庁舎
	18日	救急隊員講習会	消防本部
	24・25日	一般教養「危険物火災活動対策について」	消防本部
	29・30日	消防団年末特別警戒	各分団庁舎
平成26年			
1月	11日	一宮市消防出初式	木曽川中学校屋内運動場
	14・15日	PPV戦術マンション火災戦闘訓練	尾西消防署
	20・21日	ドライスーツを使用した潜水訓練及び水面救助訓練	航空自衛隊小牧基地体育訓練施設
	23日	文化財防火訓練	賀茂神社
	25日	解体予定建物を利用した救助訓練	ピアゴ尾西店
	27日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	29・30日	PPV戦術マンション火災戦闘訓練	本署
2月	12日	甲種防火管理再講習会	消防本部
	15～19日	認知症高齢者グループホーム等の特別査察	
	17日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	17・18日	電柱事故救助合同訓練	中部電力一宮営業所 配電訓練所
	19・20日	第2回警防技術発表会	尾西消防署
	26日	春季火災予防運動消防訓練	テラスウォーク一宮
	27日	一般教養「安全運転について」	消防本部
3月	2日	消防団員研修会	消防本部
	4日	一般教養「安全運転について」	消防本部
	4・5日	婦人消防クラブ街頭広報宣伝	
	4日	イオンモール木曽川（萩原町連区婦人消防クラブ）	
	5日	名鉄百貨店一宮店（神山連区婦人消防クラブ）	
	7～13日	春季火災予防運動に伴う特別査察	
	10日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール

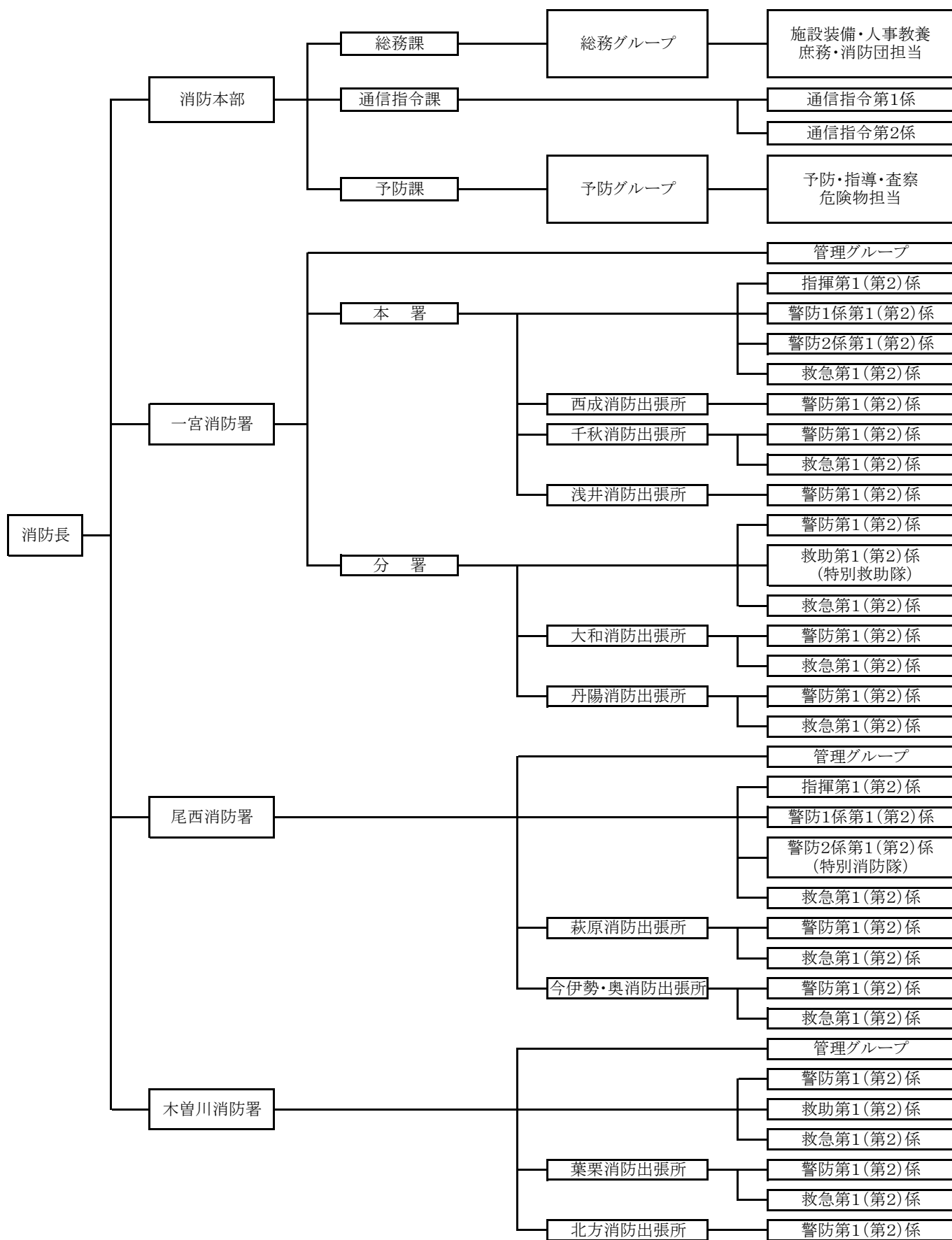
消防情勢の推移

	年 別	市 勢		(消 防 千 円 年 度 予 算)	職員(実員)		水利(公設のみ)		
		人 口	世 帯		消 防 吏 員	そ の 他	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽
旧一宮市	平成12年	278,869	91,295	2,491,621	251	1	2,707	378	272
	平成13年	279,115	91,796	2,635,074	256	1	2,746	378	273
	平成14年	280,778	94,064	2,730,724	269	1	2,794	374	274
	平成15年	281,772	95,888	3,536,546	265	1	2,854	373	276
	平成16年	283,079	98,013	2,555,423	265	1	2,895	370	278
旧尾西市	平成12年	58,668	18,800	690,273	67	1	568	185	23
	平成13年	58,963	19,049	716,541	65	2	574	184	23
	平成14年	58,932	19,264	587,803	63	3	581	185	23
	平成15年	58,901	19,518	719,320	63	3	604	227	23
	平成16年	59,006	19,894	580,935	63	2	618	227	23
旧木曾川町	平成12年	31,457	10,307	422,413	38	1	223	26	75
	平成13年	31,576	10,440	435,446	38	1	223	26	75
	平成14年	31,848	10,666	410,040	40	1	224	26	75
	平成15年	32,065	10,834	535,346	42	1	224	26	75
	平成16年	32,340	11,052	403,905	44	1	224	26	75
一宮市	平成17年	377,216	133,401	3,642,931	364	3	3,784	621	373
	平成18年	378,725	135,786	3,453,484	367	2	3,818	619	377
	平成19年	381,036	138,435	3,552,094	369	1	3,841	615	377
	平成20年	383,308	141,180	3,532,269	368	1	3,868	613	377
	平成21年	384,706	143,259	3,420,599	368	1	3,886	612	377
	平成22年	385,772	144,838	3,449,748	374	1	3,910	611	377
	平成23年	386,132	146,178	3,566,530	383	1	3,946	611	377
	平成24年	386,390	147,585	3,608,915	388	1	3,960	608	377
	平成25年	386,447	148,759	3,496,663	388		3,978	607	377
	平成26年	386,429	150,754	3,453,097	386	1	3,980	606	377

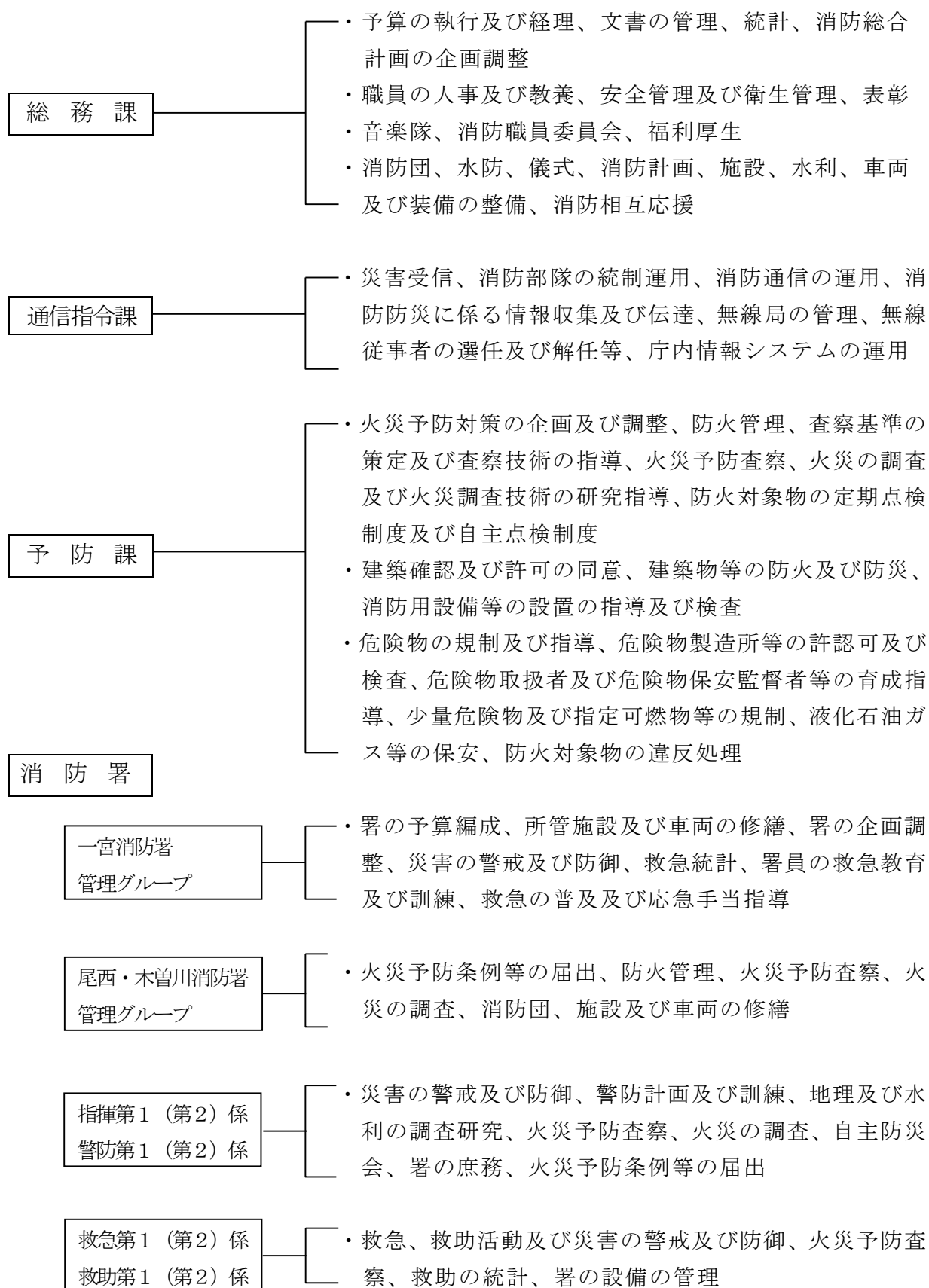
(備考)旧一宮市の市勢、職員、水利、消防団については、平成12年までは1月1日現在の数値、平成13年以降は4月1日現在の数値

火 災				救 急		救 助		消 防 団	
火災 件数	損害 額 (千円)	死 者	負 傷 者	出 動 件 数	搬 送 人 員	出 動 件 数	救 助 人 員	消 防 団 数	団 員 数 (実員)
167	362,028	1	15	7,980	8,046	156	77	1	316
171	219,923	1	14	8,058	8,186	144	64	1	315
152	300,597	5	6	8,308	8,375	127	59	1	316
145	369,009	1	10	9,055	9,009	152	66	1	316
154	219,349	2	24	9,721	9,708	167	65	1	319
35	28,186	4	1	1,368	1,422	10	10	1	149
21	20,788		4	1,397	1,432	12	14	1	154
37	69,740	3	5	1,452	1,486	20	17	1	153
30	28,574		3	1,662	1,678	15	18	1	151
38	15,981		4	1,807	1,815	28	11	1	152
13	5,786	1	1	704	705	2		1	122
20	95,841		2	747	755	10	6	1	122
17	31,124	1	3	864	861	5	8	1	123
10	44,743		1	856	855	5	3	1	118
12	20,938			1,000	1,006	7	4	1	117
160	284,098	7	9	13,600	13,407	156	63	3	582
169	823,324	5	35	13,622	13,346	171	78	3	587
199	496,587	9	19	13,784	13,444	213	83	3	583
164	120,129	10	15	13,478	12,935	183	103	1	580
162	166,070	5	27	14,007	13,403	203	99	1	562
131	121,566	8	20	14,786	14,078	195	76	1	543
131	162,609	7	15	15,692	14,887	214	90	1	540
101	116,025	2	20	15,400	14,574	163	67	1	526
87	201,673	3	6	15,674	14,874	193	86	1	500
—	—	—	—	—	—	—	—	1	502

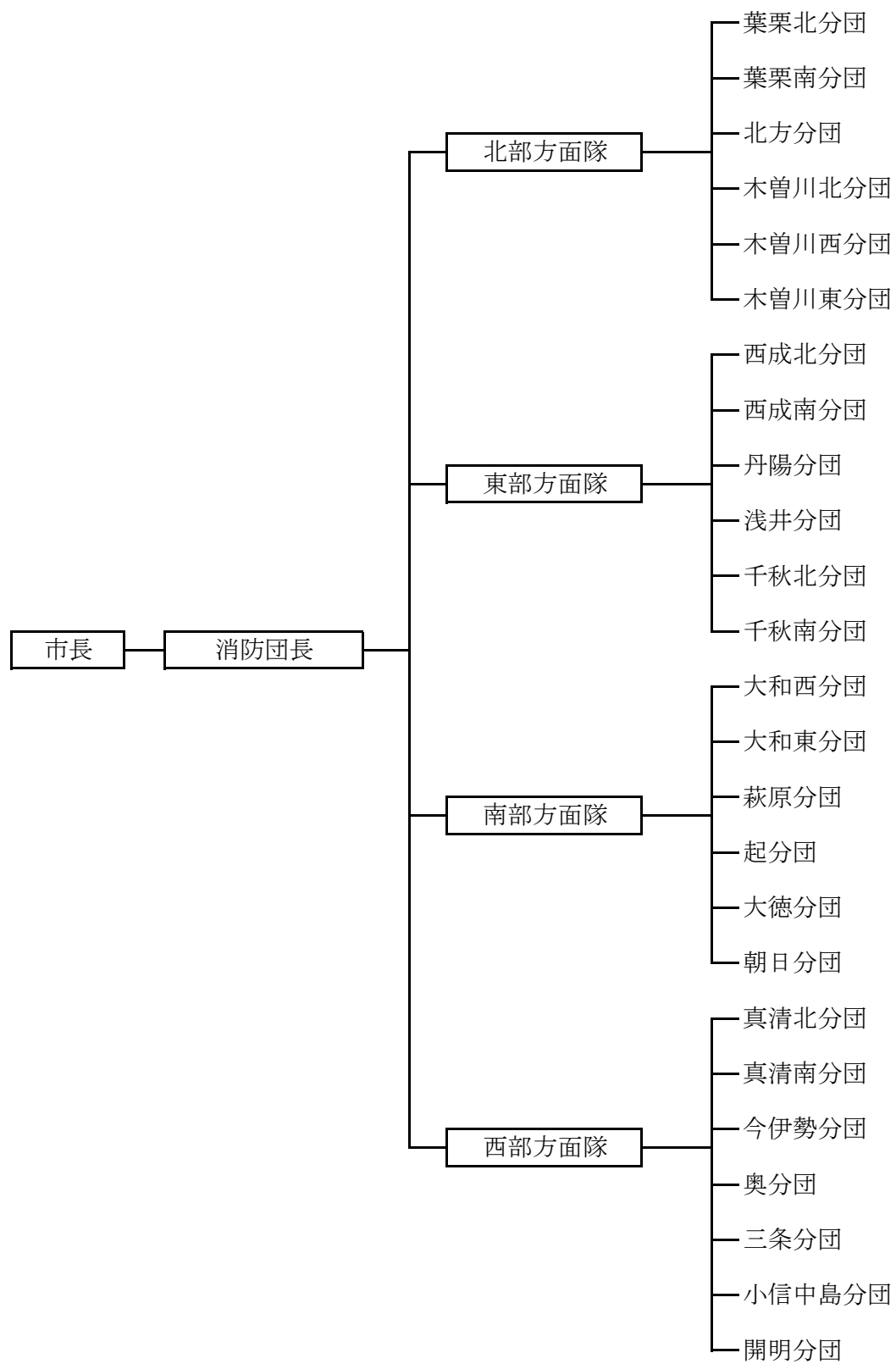
消防本部・消防署の組織



消防本部・消防署の事務分掌



消防団の組織



消防本部・消防署の庁舎現況

平成26年4月1日現在

名 称	所 在 地	構 造	延床面積(㎡)	敷地面積(㎡)	建築年月
消 防 本 部 一 宮 消 防 署 本 署	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄筋コンクリート造3階建	1,817.91	3,419.99	S43. 3
市民防災センター	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄筋コンクリート造2階建	849.09	上記に併設	H4. 3
西成消防出張所	西大海道字郷前72番地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	215.45	743.00	S56.12
千秋消防出張所	千秋町佐野字加村1番地1	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	359.07	1,323.00	H10.11
消防署整備工場 (防災備蓄倉庫併設)	千秋町佐野字加村1番地1	鉄 骨 造 平 家 建 (防災備蓄倉庫83.44)	147.51	上記に併設	H10.11
浅井消防出張所	浅井町小日比野字本郷36番地3	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	358.29	934.61	H9. 3
八幡消防分署	八幡4丁目1番12号	鉄筋コンクリート造2階建	498.81	737.54	H20.9
大和消防出張所	大和町荻安賀字上東出37番地	鉄筋コンクリート造平家建 車庫・鉄骨造折板葺	356.68	1,421.67	S54.12
丹陽消防出張所	多加木四丁目30番13号	鉄 骨 造 2 階 建	384.84	1,071.01	H21.3
消防訓練施設	多加木四丁目30番13号	鉄筋コンクリート造2階建	139.60	上記に併設	S61.2
尾西消防署	西五城字中切浦13番地1	鉄筋コンクリート造3階建	2,290.05	6,580.70	H1.11
萩原消防出張所	萩原町串作字水絶15番地	鉄 骨 造 2 階 建	485.74	1,105.45	H23.3
今伊勢・奥消防出張所	今伊勢町馬寄字東瀬古22番地1	鉄 骨 造 2 階 建	526.69	1,852.59	H25.3
木曾川消防署	木曾川町黒田字北宿二の切247番地1	鉄筋コンクリート造2階建	1,291.67	5,135.00	S53. 3
葉栗消防出張所	大毛字御申塚19番地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	356.45	1,089.00	S62. 3
北方消防出張所	北方町北方字西金丸60番地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	408.39	1,125.30	H3. 3

消防団の庁舎現況

平成26年4月1日現在

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月
北部方面隊	葉栗北分団	光明寺字山屋敷23番地5	鉄骨造平家建	67.82	238.73	H15.12
	葉栗南分団	島村字下老光寺30番地	鉄骨造平家建	69.60	621.61	H20.3
	北方分団	北方町北方字中屋敷郷263番地	鉄骨造平家建	60.35	261.00	H5.1
	木曽川北分団	木曽川町黒田字松山東72番地	鉄筋コンクリート造 2階建	126.00	188.24	H2.3
	木曽川西分団	木曽川町玉ノ井字穴太部5番地	鉄筋コンクリート造 2階建	99.00	203.14	H14.3
	木曽川東分団	木曽川町黒田八ノ通り139番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	138.23	556.13	H13.3
東部方面隊	西成北分団	西大海道字本郷85番地10	鉄骨造平家建	60.35	300.49	H6.3
	西成南分団	大赤見字鷺目4番地1	鉄骨造2階建	97.94	252.00	H19.3
	丹陽分団	平島3丁目6番9号	鉄骨造平家建	63.90	225.00	H13.12
	浅井分団	浅井町前野字郷西43番地1	鉄骨造平家建	105.00	380.00	H4.2
	千秋北分団	千秋町加納馬場字高須56番地1	鉄骨造2階建	97.94	147.61	H21.2
	千秋南分団	千秋町小山字城41番地1	鉄骨造平家建	68.90	624.01	H18.2

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月
南部方面隊	大和西分団	大和町荻安賀字火口上1665番地	鉄骨造2階建	97.94	149.75	H14.12
	大和東分団	大和町妙興寺字高畑14番地1	鉄骨造平家建	56.00	221.86	H3. 3
	萩原分団	萩原町河田方字西狭間7番地3	鉄骨造平家建	68.90	495.00	H17. 3
	起分団	起字西茜屋27番地2	鉄骨造平家建	72.90	628.10	H25.12
	大徳分団	西五城字飛石北31番地1	鉄骨造平家建	97.20	611.00	H16. 3
	朝日分団	明地字西阿古井80番地	鉄骨造平家建	72.90	490.86	H24. 3
西部方面隊	真清北分団	桜3丁目11番10号	鉄骨造平家建	50.60	352.12	S62. 3
	真清南分団	大志2丁目7番9号	鉄骨造2階建	54.88	85.96	S58. 3
	今伊勢分団	今伊勢町馬寄字吉田浦56番地1	鉄骨造平家建	60.35	593.20	H12.12
	奥分団	奥町字下口西23番地1	鉄骨造平家建	70.68	364.00	H22.2
	三条分団	三条字郷南西37番地1	鉄骨造平家建	72.90	381.95	H22.12
	小信中島分団	小信中島字中平10番地	補強コンクリート ブロック造平家建	126.00	237.60	S43.5
	開明分団	開明字杵西郭69番地1	鉄骨造平家建	97.20	736.12	H15.12

消防本部・消防署車両の現勢

平成26年4月1日現在

種別 所属	名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年度	経過 年数	ポ ン プ	
							級別	メーカー
消防本部・一宮消防署本署	本部司令車		一宮800さ488	トヨタ E-GS151H	H8	17		
	本署司令車		一宮800さ302	トヨタ E-SV40	H9	16		
	本署指揮車		一宮800さ291	ニッサン CBA-MNE51	H17	8		
	本署1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮800さ985	日野 SKG-XZU640M	H23	2	A2	モリタ
	本署2号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮800は25	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	8	A2	長野ポンプ
	一宮1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮800は23	日野 KK-GD1JGDA改	H11	14	A2	日本ドライ ケミカル
	本署梯子車	40mはしご付 消防自動車	一宮830つ119	日野 KC-PR4FPDF	H11	14		
	本署高所 作業車	12m	一宮800さ84	いすゞ KC-NKR66E2N	H10	15		
	本署救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ586	ニッサン CBF-FPWGE50改	H20	5		
	本署救急2号車	高規格救急自動車	一宮800さ721	ニッサン CBF-FPWGE50改	H21	4		
	本署広報1号車		一宮800さ164	トヨタ UA-NCP59G	H14	11		
	本署広報2号車		一宮800さ264	ニッサン TA-NT30	H13	12		
	本署広報3号車		一宮800さ170	トヨタ GF-AT211G	H12	13		
	本署広報4号車		一宮800さ154	トヨタ E-AT191G	H8	17		
	本署広報5号車		一宮800さ256	トヨタ R-EE103V改	H7	18		
	本署広報6号車		一宮100さ286	トヨタ GE-RZH183K	H14	11		
	本署広報7号車		一宮500さ6305	ホンダ GF-RF1	H12	13		
	本署広報8号車		一宮800さ186	ニッサン CBA-NT30	H18	7		
	本署広報9号車		一宮500そ6867	ホンダ DBA-GB3	H22	3		
	搬送2号車	幌	一宮800さ330	マツダ PB-LKS81AR	H17	8		
	搬送3号車	パワーゲート・幌	一宮800さ335	いすゞ PB-NKS81AR	H17	8		
出張所	西成	西成1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	日野 SDG-GD7JGAA改	H23	2	A2	モリタ
	千秋	千秋1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	H19	6	A2	長野ポンプ
		千秋2号車	消防ポンプ自動車	日野 KK-XZU331M	H12	13	A2	日本ドライ ケミカル
		千秋救急1号車	高規格救急自動車	ニッサン CBF-FPWGE50改	H23	2		
	浅井	浅井1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FL63HGX改	H15	10	A2	日本ドライ ケミカル

種別 所属		名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年度	経過 年数	ポ ン プ	
								級別	メーカー
八幡消防分署		分署司令車		一宮800さ708	ニッサン DBA-NT31	H21	4		
		分署1号車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800は66	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	1	A2	モリタ
		分署救急1号車	3tクレーン装備	一宮800は9	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	7		
		分署救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ156	トヨタ TC-VCH38S	H14	11		
		分署広報1号車		一宮480あ4001	三菱 V-U41V	H10	15		
出張所	大和	化学1号車	水 1500ℓ 薬液500ℓ	一宮800は20	三菱 KK-FK61HGX	H15	10	A2	日本機械
		大和救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ198	ニッサン TC-FPWGE50改	H16	9		
		一宮救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ56	トヨタ GE-VCH32S	H12	13		
	丹陽	丹陽1号車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800は45	日野 BDG-GD7JGWA改	H22	3	A2	モリタ
		丹陽救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ419	トヨタ CBF-TRH226S	H19	6		
尾西消防署		尾西司令車		一宮800さ529	トヨタ GF-RZJ95W	H14	11		
		尾西指揮車		一宮800さ401	ニッサン UA-NE51	H15	10		
		尾西1号車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800さ724	日野 BDG-XZU334M	H21	4	A2	モリタ
		尾西2号車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800は18	三菱 KK-FK61HEX	H15	10	A2	日本ドライ ケミカル
		化学2号車	水 1000ℓ 薬液600ℓ	一宮800は15	三菱 KK-FK61HGX	H11	14	A1	畠山ポンプ
		尾西梯子車	3.5mはしご付 消 防 自 動 車	一宮800は26	日野 KC-PR4FPDF	H11	14		
		尾西高所 作 業 車	12m	一宮800さ92	いすゞ KC-NKR66E2N	H10	15		
		尾西救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ159	ニッサン TC-FPWGE50改	H18	7		
		一宮救急3号車	高規格救急自動車	一宮800さ400	ニッサン TC-FPWGE50改	H15	10		
		尾西広報1号車		一宮480あ2345	三菱 V-U41V	H9	16		
		尾西広報2号車		一宮800さ507	トヨタ GC-KR42V	H12	13		
		尾西広報3号車		一宮800さ457	ニッサン GF-QU14	H11	14		
		機材輸送車	3tクレーン装備	一宮800さ393	日野 ADG-FD7JLWA	H17	8		
出張所	萩原	萩原1号車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800は32	日野 BDG-GD7JGWA改	H21	4	A2	モリタ
		萩原2号車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800さ174	三菱 KK-FK61HG改	H14	11	A2	日本機械
		萩原救急1号車	高規格救急自動車	一宮830せ138	ニッサン GE-FLWGE50改	H13	12		
	今伊勢・奥	今伊勢・奥1号車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800は77	日野 SDG-GD7JGAA改	H25	0	A2	モリタ
		今伊勢・奥2号車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800は30	日野 BDG-GD7JGWA改	H20	5	A2	長野ポンプ
		今伊勢・奥救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ252	ニッサン CBF-FPWGE50改	H24	1		

種別 所属	名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年度	経過 年数	ポ ン プ	
							級別	メーカー
木 曽 川 消 防 署	木 曾 川 司 令 車		一宮800さ227	トヨタ E-GX81改	H7	18		
	木 曾 川 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800は65	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	1	A2	モリタ
	一 宮 2 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800さ183	三菱 KK-FK61HG改	H14	11	A2	日本機械
	木 曾 川 救 助 工 作 車	3tクレーン 装 備	一宮800は21	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	8		
	木 曾 川 救 急 1 号 車	高規格救急自動車	一宮800さ681	トヨタ CBF-TRH226S	H21	4		
	一 宮 救 急 2 号 車	高規格救急自動車	一宮800さ187	トヨタ GB-VCH32S	H10	15		
	木 曾 川 広 報 1 号 車		一宮880あ16	ダイハツ V-S100V	H9	16		
	木 曾 川 広 報 2 号 車		一宮800さ424	トヨタ CBA-NCP59G	H17	8		
	搬 送 1 号 車		一宮800さ345	マツダ PB-LKS81AR	H17	8		
出 張 所	葉 栗	葉 栗 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	7	A2	長野ポンプ
		葉 栗 救 急 1 号 車	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H25	0		
	北 方	北 方 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ PB-FSS35G3J改	H16	9	A2	日本機械

総数 67台（消防本部・一宮消防署 36台、尾西消防署 19台、木曽川消防署 12台）

タンク車 18台(非常用2台含む)

救助工作車 2台

ポンプ車 1台

化学車 2台(非常用1台含む)

救急車 14台(非常用3台含む)

その他 28台

はしご車 2台

消防団車両の現勢

平成26年4月1日現在

所属	種別	名 称	摘 要	登録番号	車 名 式 型 式	購入 年度	経過 ポ ン プ		
							年数	級別	メーカー
北部方面隊	葉栗北分団	葉栗北分団車	積 載 車	一宮830す119	ニッサン TC-SH4F23	H18	7	B2	トーハツ
	葉栗南分団	葉栗南分団車	ポンプ車	一宮800さ100	いすゞ PB-NKR81N	H16	9	A2	モリタ
	北 方 分 団	北 方 分 団 車	ポンプ車	一宮830の119	いすゞ BKG-NMR85N	H22	3	A2	日本機械
	木曽川北分団	木曽川北分団車	積 載 車	一宮830ひ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	2	B2	トーハツ
	木曽川西分団	木曽川西分団車	積 載 車	一宮830は119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	2	B2	トーハツ
	木曽川東分団	木曽川東分団車	ポンプ車	一宮830ね119	日野 BDG-XZU304E	H21	4	A2	モリタ
東部方面隊	西成北分団	西成北分団車	積 載 車	一宮830せ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	7	B2	トーハツ
	西成南分団	西成南分団車	ポンプ車	一宮800さ376	日野 KK-XZU301E	H15	10	A2	モリタ
	丹 陽 分 団	丹 陽 分 団 車	積 載 車	一宮800さ112	ニッサン TC-SH4F23	H16	9	B2	トーハツ
	浅 井 分 団	浅 井 分 団 車	積 載 車	一 宮830さ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	7	B2	トーハツ
	千秋北分団	千秋北分団車	積 載 車	一宮830ち119	ニッサン TC-SH4F23	H19	6	B2	トーハツ
	千秋南分団	千秋南分団車	ポンプ車	一宮800さ416	日野 KK-XZU301E	H13	12	A2	GMいちはら
南部方面隊	大和西分団	大和西分団車	積 載 車	一宮800さ406	ニッサン TC-SH4F23	H17	8	B2	トーハツ
	大和東分団	大和東分団車	ポンプ車	一宮830ぬ119	日野 BDG-XZU304E	H21	4	A2	小川ポンプ
	萩 原 分 団	萩 原 分 団 車	ポンプ車	一宮800さ383	日野 KK-XZU301E	H15	10	A2	モリタ
	起 分 団	起 分 団 車	積 載 車	一宮830て119	ニッサン CBF-SQ2F24	H20	5	B2	トーハツ
	大 徳 分 団	大 徳 分 団 車	ポンプ車	一宮830に119	日野 BDG-XZU304E	H21	4	A2	小川ポンプ
	朝 日 分 団	朝 日 分 団 車	積 載 車	一宮830ふ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H24	1	B2	トーハツ
西部方面隊	真清北分団	真清北分団車	積 載 車	一宮830た119	ニッサン TC-SH4F23	H19	6	B2	トーハツ
	真清南分団	真清南分団車	ポンプ車	一宮800さ200	日野 KK-XZU301E	H14	11	A2	モリタ
	今伊勢分団	今伊勢分団車	積 載 車	一宮800さ407	ニッサン TC-SH4F23	H17	8	B2	トーハツ
	奥 分 団	奥 分 団 車	ポンプ車	一宮800さ380	日野 KK-XZU301E	H15	10	A2	モリタ
	三 条 分 団	三 条 分 団 車	ポンプ車	一宮830と119	日野 BDG-XZU304E	H20	5	A2	GMいちはら
	小信中島分団	小信中島分団車	積 載 車	一宮830な119	ニッサン CBF-SQ2F24	H21	4	B2	トーハツ
	開 明 分 団	開 明 分 団 車	ポンプ車	一宮830そ119	いすゞ KC-NKS71GR	H10	15	A2	小川ポンプ

総数 25台 (ポンプ車 12台、積載車 13台)

消防音楽隊のあゆみ

明治28年、一宮銀行頭取の佐分慎一郎氏が、外国から楽器を取り寄せ、銀行員を音楽隊員に任命し「一宮音楽会」が誕生しました。その頃は、日清戦争のさなかで隊員の服装も軍国調でした。演奏活動は、一宮駅等において出兵兵士の歓送迎や宮田用水通水式記念演奏などを行いました。

明治37年には、「一宮軍楽会」に改称しました。当時、音楽隊は大変珍しい存在でしたので、名古屋第三師団の招魂祭をはじめ、豊橋・四日市・静岡・箱根など各地から演奏依頼が殺到しました。しかし、押し寄せる戦争の波には勝てず演奏活動を続けることができなくなり楽器を第四尋常小学校（現在の大志小学校）へ保管していました。

その後、一宮第一青年団が音楽隊を再結成し、昭和9年には消防組がこれを受け継ぎ、全国初の消防音楽隊が誕生しました。大森喜代三郎氏を中心として音楽隊員を増員し、先代の軍楽会同様、各方面から好評を博し、演奏活動も軌道に乗りました。しかし、太平洋戦争の激化により、またも演奏活動を中止せざるをえなくなりました。

空襲により、市内の大部分が消失しましたが、楽器は市役所の望楼に保管したので、すべて無事でした。楽器が生き残ったおかげで、隊員こそ少人数になりましたが、再び練習が開始されました。焦土と化した中から、疲弊した市民を励ますように希望のメロディーが流れはじめました。苦難の時代も音楽活動を続け、消防音楽隊として定着してきました。

昭和36年に消防音楽隊は、一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団となりました。本格的な吹奏楽団としてオレンジ色の帽子、上着、クリーム色のズボンを身にまとい、華やかな彩りと高度な技量を市民に披露しました。そして、昭和37年には演奏効果をより充実するため、楽器の編成に一部弦楽器を加え、名称を「一宮市音楽隊」に改称しました。昭和51年に一宮市音楽隊設置規則を制定、昭和62年には、「一宮市消防音楽隊」に改称しました。

現在は隊員38名が、市の行事はもちろん高齢者福祉施設や小中学校演奏会、各種イベント、パレード等、年間約40回の演奏活動を幅広く実施しています。

昭和55年から毎年市民会館で開催している定期演奏会では、ゲストに著名な歌手や指揮者を招いて一年間の練習の成果を発表しており、芸術の秋の一大イベントになっています。平成3年中には、一宮市制70周年記念事業に多数参加しイベントに花をそえました。

そして、平成5年は国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の式典演奏を、平成6年には、第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の式典演奏等を担当するなど、大会の運営に貢献するとともに、音楽隊誕生100周年を迎えました。この記念演奏会を7月と11月に2回開催し、多くの市民から好評を博しました。平成13年から、学校演奏会30周年を記念して第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催し、情操教育の一環として演奏技術の向上を目的に毎年演奏活動を実施しています。

<年表>

明治28年	一宮銀行佐分頭取を理事長として一宮音楽会が発足、日清戦争出兵兵士の歓送演奏
明治32年	宮田用水通水記念演奏
明治37年	一宮軍楽会と改称
昭和 2年	一宮第一青年団音楽隊と改称し、大森喜代三郎氏が隊長兼指揮者として就任
昭和 9年	青年団音楽隊から一宮消防組音楽隊に改め隊員も消防組員を主体として全国初の消防音楽隊が発足
昭和19年	太平洋戦争の激化により活動を停止
昭和21年	隊員25名で消防音楽隊を再編成
昭和36年	消防音楽隊は一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団としてスタート
昭和37年	一宮市音楽隊と改称し市営となる
昭和38年	創立3周年記念音楽会を開催
昭和43年	NHK土曜コンサートで全国放送
昭和44年	名古屋まつり市中パレードに出演
昭和46年	一宮市繊維団地完成祝典演奏
昭和47年	プロ野球オープン戦入場式及び演奏会、ドリル演奏を実施
昭和51年	一宮市音楽隊設置規則制定 一宮ライオンズクラブ結成20周年記念式典演奏 愛知県消防大会で記念演奏
昭和53年	一宮市民憲章制定発表会で記念演奏 一宮市スポーツ文化センター完成式で記念演奏 ロータリークラブ国際年次大会で記念演奏
昭和54年	日中友好国際ソフトボール大会の入場式及び演奏会
昭和55年	一宮市音楽隊20周年記念演奏会を開催
昭和62年	一宮市音楽隊を一宮市消防音楽隊と改称し、隊長の大森喜代三郎氏は名誉隊長に、隊長には消防長がそれぞれ就任
平成 元年	世界デザイン博覧会のJTミュージックラン、一宮フェスティバルに出演
平成 2年	「イーストマン・ウインド・アンサンブル」指揮者ドナルド・ハンスバーガー氏に指導を受ける
平成 3年	一宮市制70周年記念事業に多数参加
平成 4年	指揮者としてチェコスロバキア出身アントニン・キューネル氏を迎える
平成 5年	国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の開会式、表彰式、閉会式の演奏を担当
平成 6年	第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の開始式、表彰式、閉会式の演奏を担当 7月と11月に音楽隊誕生100周年記念演奏会を開催
平成 7年	第17回定期演奏会で交響詩「阪神大震災」(アントニン・キューネル作曲)を初演
平成 9年	第19回定期演奏会で新調したユニフォームを初披露
平成10年	第20回定期演奏会に名古屋市消防音楽隊(カラーガード隊リリーエンゼルス)が友情出演
平成13年	学校演奏会30周年を記念し、第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催
平成13年	一宮市制80周年記念として、第23回定期演奏会に神崎愛氏をゲストとして迎える
平成16年	第26回定期演奏会で「しょうぼうじどうしゃじぶた」を題材に子供たちの演劇を演奏
平成20年	第30回定期演奏会で「カルメン」をテーマにゲストによる歌と踊り、そして音楽隊とのコラボレーションを披露

平成21年 第31回定期演奏会で市民参加による吹奏楽と合唱のコラボレーション、合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」を披露

平成22年 第32回定期演奏会で「スポーツと音楽」をテーマにスポーツ&音楽ライターの玉木正之氏と元フィギュアスケート選手の中野友加里氏をゲストに迎える

平成23年 第33回定期演奏会で「世界を旅する」をテーマに野村哲也氏(写真家)、八木澤教司氏(作曲家)、大石邦彦氏(CBCアナウンサー)をゲストに迎える

平成24年 第34回定期演奏会で「ミュージカル」をテーマに新妻聖子氏(ミュージカル女優)をゲストに迎える

平成25年 第35回定期演奏会で「世界の中の日本」をテーマに山口晃司氏(津軽三味線奏者)、白井奈津氏(ラジオDJ)をゲストに迎える

消防音楽隊の編成

平成26年4月1日現在

隊 長		消防長 後藤 保夫	
副 隊 長		佐野 正樹	
常 任 指 揮 者		鈴木 竜哉	
フルート・ピッコロ	3	バリトンサキソフォン	1
オーボエ	1	トランペット	4
E♭クラリネット	1	ホルン	4
クラリネット	6	ユーフォニウム	1
アルトクラリネット	1	トロンボーン	4
バスクラリネット	1	チューバ	2
アルトサキソフォン	2	ストリングベース	1
テナーサキソフォン	1	ティンパニー・パーカッション	5
		計	38

消防音楽隊の活動状況

平成25年度中

区 分	合 計	内 容				
		演 奏				練 習
		部 内	市関係	その他	計	
4 月	7			1	1	6
5 月	10		6	2	8	2
6 月	9	1	6		7	2
7 月	4		2		2	2
8 月	3					3
9 月	13		1	7	8	5
10 月	10	1		1	2	8
11 月	9	2			2	7
12 月	5			1	1	4
1 月	6	1	1		2	4
2 月	3					3
3 月	9			1	1	8
合 計	88	5	16	13	34	54

総務

当初予算の推移

(単位 千円)

年度 科目		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
一般会計		100,971,000	100,646,000	104,712,000	105,215,000	105,443,000
消防費		3,449,748	3,566,530	3,608,915	3,496,663	3,453,097
消防費内訳	常備消防費	3,013,657	3,196,141	3,104,179	3,190,530	3,173,504
	非常備消防費	104,993	106,835	106,452	104,690	108,638
	消防施設費	321,039	253,644	388,496	191,279	161,313
	水防費	10,059	9,910	9,788	10,164	9,642

決算額と構成の推移

(単位 千円)

年度 科目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般会計		91,629,836	102,197,258	106,821,906	101,580,452	106,932,872
消防費		3,512,698	3,502,618	3,417,367	3,560,636	3,598,834
消防費内訳	常備消防費	2,975,032	3,006,128	2,969,320	3,188,715	3,088,126
	非常備消防費	115,084	111,829	106,155	123,116	111,951
	消防施設費	412,199	374,452	331,833	238,895	388,969
	水防費	10,383	10,209	10,059	9,910	9,788
	消防費の構成比	3.8%	3.4%	3.2%	3.5%	3.4%
	人口一人当たりの消防費(円)	9,164	9,105	8,859	9,221	9,314
	1世帯当たりの消防費(円)	24,881	24,450	23,594	24,358	24,385

消防職員の配置

平成26年4月1日現在(単位 人)

区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計		387	1	2	13	25	75	159	61	50	1
消防本部	消防 長	1	1								
	消防 本部 次 長	1		1							
	総 課 長	1			1						
	副 主 監	1				1					
	総 務 課 付	1						1			
	庶 務 担 当	4					1	2			1
	人 事 教 養 担 当	3					1	1	1		
	消 防 団 担 当	4					1	2	1		
	施 設 装 備 担 当	3					1	2			
	通 信 課 長	1			1						
	副 主 監	2				2					
	通 信 指 令 (普 通 勤 務)	1					1				
	通 信 指 令 第 1 係	8					1	5	2		
	通 信 指 令 第 2 係	8					1	5	2		
	予 課 長	1			1						
	副 主 監	1				1					
	予 防 担 当	3					1	1		1	
	指 導 担 当	3					1	2			
	危 険 物 担 当	3					1	2			
	課 査 察 担 当	3					1	1	1		
消防署	署 長	1		1							
	主 監	1			1						
	管 理 グ ル ー プ	6					2	2	2		
	警 防 1 (2) 課 長	2			2						
	主 監	2			2						
	指 揮 第 1 (第 2) 係	8					2	6			
	警 防 第 1 係 第 1 (第 2) 係	14					2	7	2	3	
	警 防 第 2 係 第 1 (第 2) 係	10					2	5	2	1	
	救 急 第 1 (第 2) 係	10					2	6	2		
	千 担 当 消 防 司 令	2				2					
	秋 千 消防出張所警防第1(第2)係	8					2	4	1	1	
	秋 千 消防出張所救急第1(第2)係	10					2	4	2	2	
	西 担 当 消 防 司 令	1				1					
	成 西 消防出張所警防第1(第2)係	11					2	3	2	4	
	浅 担 当 消 防 司 令	1				1					
	井 浅 井 消防出張所警防第1(第2)係	11					2	4	2	3	

平成26年4月1日現在(単位 人)

区 分			合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
一宮消防署	分署	分署長	1			1						
		担当消防司令	2				2					
		警防第1(第2)係	10					2	5	1	2	
		救助第1(第2)係(特別救助隊)	12					2	8	2		
		救急第1(第2)係	10					2	4	4		
		大和担当消防司令	2				2					
		大和消防出張所警防第1(第2)係	8					2	4		2	
		大和消防出張所救急第1(第2)係	10					2	3	4	1	
		丹陽担当消防司令	2				2					
		丹陽消防出張所警防第1(第2)係	8					2	3	2	1	
		丹陽消防出張所救急第1(第2)係	10					2	5	3		
尾西消防署	分署	署長	1			1						
		管理グループ	3					2	1			
		警防1(2)課長	2			2						
		担当消防司令	2				2					
		指揮第1(第2)係	8					2	2	3	1	
		警防第1係第1(第2)係	10					2	3		5	
		警防第2係第1(第2)係(特別消防隊)	12					2	8		2	
		救急第1(第2)係	10					2	4	2	2	
		今伊勢・奥担当消防司令	2				2					
		今伊勢・奥消防出張所警防第1(第2)係	8					2	5		1	
		今伊勢・奥消防出張所救急第1(第2)係	10					2	3	4	1	
		萩原担当消防司令	2				2					
木曾川消防署	分署	署長	1			1						
		管理グループ	2					2				
		担当消防司令	2				2					
		警防第1(第2)係	14					2	4	2	6	
		救助第1(第2)係	12					2	9		1	
		救急第1(第2)係	10					2	3	2	3	
		葉栗担当消防司令	2				2					
		葉栗消防出張所警防第1(第2)係	8					2	3	2	1	
		葉栗消防出張所救急第1(第2)係	10					2	4	3	1	
		北方担当消防司令	1				1					
		北方消防出張所警防第1(第2)係	11					2	5		4	

消防職員の年齢

平成26年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	387	1	2	13	25	75	159	61	50	1
18歳・19歳	5								5	
20歳から24歳	18								18	
25歳から29歳	61							36	25	
30歳から34歳	76						49	25	2	
35歳から39歳	105					6	99			
40歳から44歳	35					24	11			
45歳から49歳	21				2	19				
50歳から54歳	43		1	7	15	20				
55歳から59歳	23	1	1	6	8	6				1
平均年齢	37.5	57.0	55.0	54.8	53.4	46.8	35.9	29.2	24.6	58.0

消防職員の勤続年数

平成26年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	387	1	2	13	25	75	159	61	50	1
1年未満から5年	71							24	46	1
6年から10年	59						20	35	4	
11年から15年	74						72	2		
16年から20年	62					13	49			
21年から25年	35					17	18			
26年から30年	28			1	6	21				
31年から35年	38		2	8	10	18				
36年以上	20	1		4	9	6				
平均年数	16.4	39.0	32.5	35.0	34.1	27.2	15.1	6.2	2.6	0.0

消防職員資格等保有状況

平成26年4月1日現在(単位 人)

区 分			合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
救 急 救 命 士			82			3	5	24	41	3	6	
	薬 剤 投 与 救 急 救 命 士		57				2	15	35	3	2	
	気 管 挿 管 救 急 救 命 士		13					4	9			
救急Ⅱ課程・救急標準課程修了者			273	1	2	10	20	51	118	58	13	
大 型 一 種 自 動 車 免 許			335	1		9	20	68	154	57	26	
中 型 一 種 自 動 車 免 許			12						3	3	6	
自 動 車 士 整 備 免 許	ディーゼル	2 級	1						1			
		3 級	2						2			
	ガソリン	2 級	3					1	2			
		3 級	4					1	3			
	シ ャ シ	3 級	6	1				2	3			
危 険 物 取 扱 者 免 状	甲 種		5		1	1		1	1	1		
	乙 種	第 4 類	61			4	2	12	32	7	4	
		第 6 類	13					2	8	3		
	丙 種		19				1	5	10	3		
陸上特殊無線技士		第 2 級	216		1	6	5	13	90	59	42	
		第 3 級	105			4	6	31	64			
消 防 設 備 士 免 状		甲 種	4			1	1	1	1			
		乙 種	8			1	1	1	4	1		
1・2級小型船舶操縦士免許			94		1	1	5	24	45	14	4	
ガ ス 溶 接 技 能 講 習			37			3	11	10	11	2		
有機溶剤作業主任者技能講習			9					4	5			
高圧ガス製造保安責任者免状			11			3	2	6				
第 一 種 衛 生 管 理 者 免 許			17		2	2	3	6	4			
ボ イ ラ ー 取 扱 技 能 講 習			8			4	1	2	1			
足場の組立て等作業主任者技能講習			29			2	4	15	8			
小型移動式クレーン運転技能講習			151	1		11	25	49	53	11	1	
玉 掛 け 技 能 講 習			247	1		7	10	18	108	61	42	
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習			42	1		5	10	19	7			
潜 水 士 免 許			85				5	18	48	12	2	
予防技術資格者(防火査察専門員)			16		2	2	2	6	4			
予防技術資格者(消防設備等専門員)			9				1	6	2			
予防技術資格者(危険物専門員)			15		2	2	2	6	3			
接 遇 研 修 指 導 者			5			1	1	1	2			
J K E T 研 修 指 導 者			5	1		2	1	1				

消防職員教育研修状況

平成25年度中

科 目	回数	日数	受講者	科 目	回数	日数	受講者
○派遣教育				○その他の教養			
県消防学校				研究会・講習会			
初任科(第96期)	1	166	4	名古屋市消防局派遣研修(救助)	1	2	2
初任科(第97期)	1	176	4	安全運転管理者講習会	1	1	4
警防科(第62期)	1	16	3	副安全運転管理者講習会	1	1	1
危険物科(第48期)	1	5	2	消防救急緊急自動車運転技能者研修	1	4	1
救急科(第104期)	1	52	5	消防実務講習会(コ・メディカルセミナー)	1	1	4
救急科(第105期)	1	52	5	整備主任者技術研修会	1	1	1
救助科(第39期)	1	29	2	整備主任者定期研修会	1	1	2
上級幹部科(第62期)	1	3	2	消防職員惨事ストレス初級研修	1	2	1
水難救助科(第38期)	1	12	1	調査技術会議	1	1	3
地震防災科(第8期)	1	5	2	惨事ストレス対策説明会	1	1	2
指揮隊科(第2期)	1	5	1	全国消防救助隊員シンポジウム	1	1	2
外傷・災害対応講習(Aコース)	1	1	6	全国救急隊員シンポジウム	1	2	1
消防大学校				救急救命士(気管挿管運用試験)	1	1	1
警防科(第93期)	1	52	1	救急救命士(薬剤追加講習)	3	37	3
救急救命士養成課程(名古屋)	1	203	1	日本救急医学会中部地方会	1	1	2
救急救命士養成課程(大阪)	1	191	1	日本集団災害救急医学セミナー	1	1	1
○市職員研修				日本臨床救急医学会	1	2	1
第1部前期(新規採用)研修	1	4	8	心電図セミナー(前期・後期)	1	1	4
第3部1期研修	2	2	20	愛知県医師会主催 救急研修会	1	1	4
第4部新任主査研修	1	2	7	愛知県下高速道路連絡協議会 講演会	1	1	4
新任課長級研修	1	1	3	車両構造研修会	1	1	2
第4部副主監級交渉能力研修	1	2	5	火災調査研究発表会	1	1	4
第4部新任副主監級研修	1	3	5	消防職員安全衛生研修会	1	1	3
第5部接遇リーダー研修	1	1	2	危険物特別講演会	1	1	2
第5部ライフプラン研修	1	0.5	3	○資格取得・技能講習			
第5部クレーム対応研修	1	1	1	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1	3	2
自殺対策研修会	1	1	2	足場の組立て等作業主任者技能講習	1	2	3
報道対応要領研修	1	1	2	有機溶剤作業主任者技能講習	1	2	1
平成25年度主査・主任集合研修	1	0.5	一	玉掛け技能講習	1	3	2
公務災害事務研修会	1	1	1	小型移動式クレーン運転技能講習	1	3	6
人事評価研修	1	1	5	2級小型船舶操縦士	1	1	3
○本部教養・所属教養				気管挿管再教育病院実習	4	9	4
職制教養	4	8	925	薬剤投与講習(指導者講習)	1	2	3
集合研修	3	3	505	プロトコール運用教育	1	1	3
初任者実務教養	2	183	8	薬剤運用試験	2	1	5
第5部接遇研修	1	1	17	衛生管理者	1	一	1
各種訓練研修	12	38	999	予防技術検定	1	一	2

災害防止

昭和60年10月一宮市消防職員安全管理規程を制定し、職員の安全管理と環境整備の促進を図るとともに、事故防止の徹底を図っています。さらに平成2年9月には労働安全衛生法の規定に基づき、一宮市職員安全衛生管理規程が定められ、消防本部の安全衛生管理体制も強化され、災害の防止に取り組んでいます。

〈安全衛生管理体制〉

(単位 人)

区 分	総 括 安全衛生 管 理 者	副安全衛 生管理者	衛 生 者 管 理 者	委 員	産 業 医	安全衛生 推 進 者
人 員	1	1	2	5	2	13

安全管理

最近の公務災害は、3年間で16件発生しています。

〈過去3年間の災害種別公務災害発生状況〉

(単位 件)

区 分	合 計	消防訓練中	消火活動中	救急活動中	救助活動中	その他
合 計	16	7	6			3
平成23年中	3		2			1
平成24年中	8	4	4			
平成25年中	5	3				2

消防協力者表彰

火災その他の災害現場において早期発見、消火・救助等の協力及び消防施設の強化充実、保全等消防に対して著しく功労があった者に市長感謝状として贈るものです。

平成25年中

表彰種別	合 計	火 災	救 助	救 急	その他
表彰件数	3	1		2	
表彰人員	6	4		2	

施設・装備充実事業

《今伊勢・奥1号車 更新》

水槽付消防ポンプ自動車

- 1,500リットルの水槽及びCAFS(圧縮空気泡消火装置)を装備し、消防用資機材、AEDを含む呼吸管理資機材を積載



《葉栗救急1号車 更新》

高規格救急自動車

- 高度救命処置用資機材及び応急処置資機材を積載



《起分団庁舎》

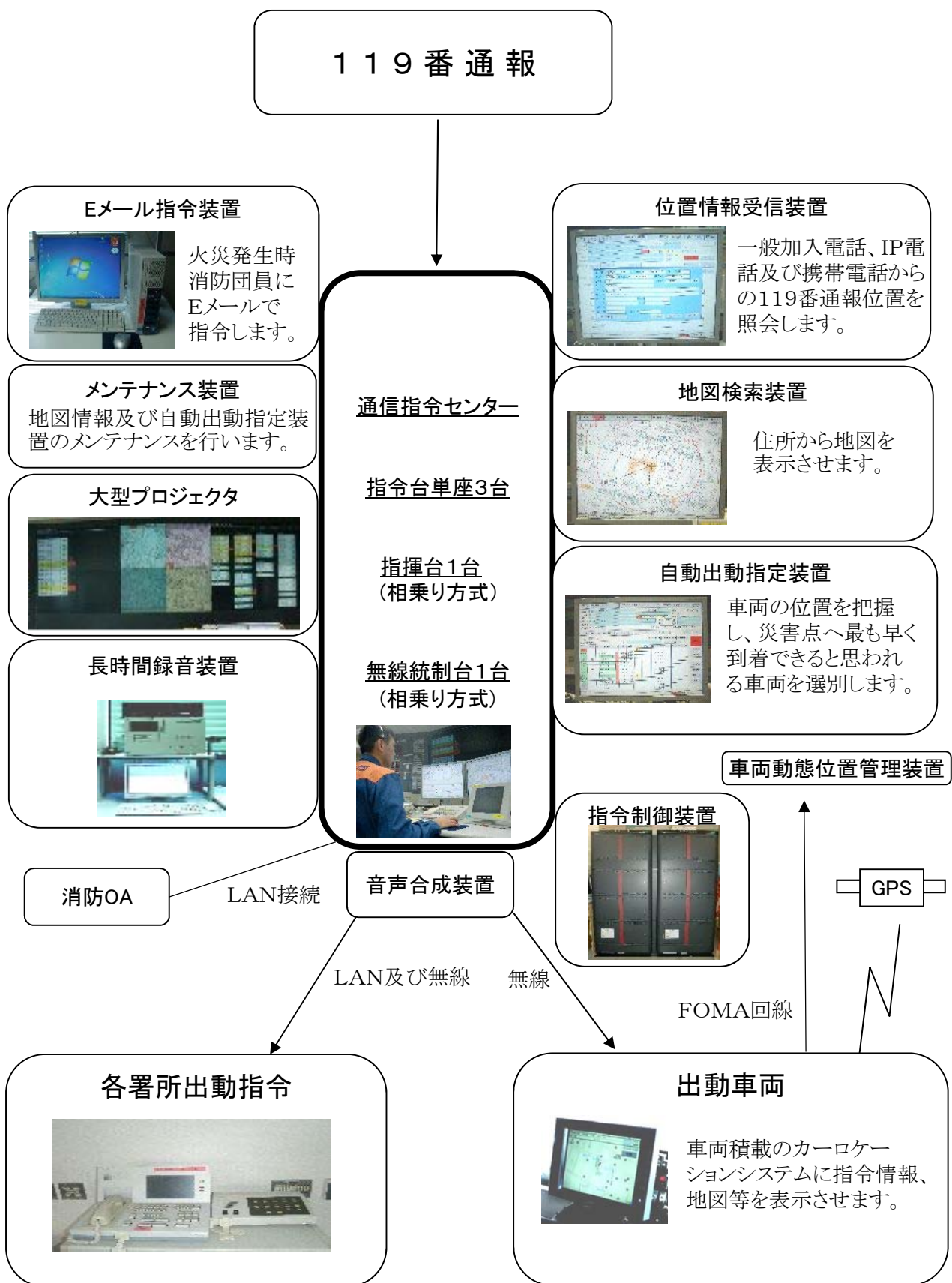
- 明るい色調で景観に溶け込み、市民に親しまれる外観
- 消防団の活動拠点として、会議の行える施設



通信

気象

指令施設系統図



無線施設

150MHz帯

消防波

基地局	2局	出力10W・5W
固定局	1局	出力10W
移動局	54局	出力10W・5W（車両積載無線）
携帯局	46局	出力10W・5W

救急波（複信式）

基地局	1局	出力10W
移動局	13局	出力10W・5W（車両積載無線）

400MHz帯

署活動波

携帯局	21局	出力1W
-----	-----	------

特定小電力トランシーバー

携帯局	171局
-----	------

無線統制台



指令回線等一覧表

1. 指令システム

項目	名 称	回線数	内 訳
1	119番回線(固定電話用)	6	・ISDN回線・・・12ch
2	119番回線(移動体用)	2	・ISDN回線・・・4ch
3	指令回線(音声、データ)	13	・署所端末装置指令回線13 { 一宮消防署本署 一宮消防署分署 千秋消防出張所 大和消防出張所 西成消防出張所 丹陽消防出張所 浅井消防出張所 木曽川消防署 尾西消防署 葉栗消防出張所 萩原消防出張所 北方消防出張所 今伊勢・奥消防出張所 }
4	加入回線	4	・ISDN回線・・・8ch(順次指令用)
5	内線回線	4	・PBX内線収容
6	専用回線	6	中部電力・中日本高速道路・東邦ガス 名古屋高速道路・予備:2
7	転送回線	2	119FAX転送回線:1(構内)、予備:1
8	無線回線	7	・市波×2 ・県内共通波 ・全国共通波×3 ・救急波
9	庁内放送回線	1	・庁内放送用
10	音声合成回線	22	・指令用:7(構内回線) (内訳)指令台:3、指揮台:2、無線統制台:2 ・無線用:1(構内回線) ・市民案内用:6 ・順次指令用:8

2. 電話回線

項目	名 称	回線数	内 訳
1	加入回線(ISDN)	4	・INSネット1500:1(23ch) ・INSネット64:3(6ch)
2	加入回線(アナログ)	4	・FAX用:3 ・障害時用:1
3	携帯電話回線	37	救急隊:14、指揮隊:2、警防隊:15、救助隊:2 通信指令課:4

月別119番受信状況

平成25年中

種 別 \ 月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	22,509	1,949	1,798	1,792	1,882	1,858	1,867	1,960	2,050	1,704	1,868	1,773	2,008
火 災	180	26	16	9	7	24	8	10	29	3	27	10	11
救 急	14,557	1,403	1,122	1,186	1,134	1,186	1,184	1,335	1,248	1,093	1,107	1,195	1,364
救 助	122	8	11	9	7	10	8	19	8	9	14	12	7
そ の 他 の 災 害	69	6	7	8	4	2	6	7	5	7	6	5	6
いた ず ら	65	1	3	13	5	4	5	3	6	11	3	8	3
間 違 い	1,202	71	106	97	104	87	66	116	118	114	115	107	101
問 合 せ	447	33	36	30	27	24	41	45	63	34	34	42	38
病 院 問 合 せ	950	118	80	103	65	92	58	79	94	68	67	64	62
訓 練	545	11	27	49	137	58	39	24	29	44	56	52	19
試 験	1,433	44	187	81	158	98	172	64	168	66	177	60	158
そ の 他	2,811	210	199	195	226	264	271	244	275	249	251	202	225
転 送	128	18	4	12	8	9	9	14	7	6	11	16	14

携帯電話からの月別119番受信状況

平成25年中

種 別 \ 月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	8,330	681	584	604	708	727	684	822	824	679	664	646	707
火 災	107	16	9	5	5	18	4	6	17	1	18	6	2
救 急	4,892	428	350	377	394	410	412	494	441	382	366	385	453
救 助	80	6	7	4	4	7	5	14	4	8	8	7	6
そ の 他 の 災 害	50	5	5	8	4	1	6	4	3	4	3	3	4
いた ず ら	29		2	1	2	1	4	2	2	10	1	3	1
間 違 い	580	26	43	42	37	41	30	59	70	68	60	53	51
問 合 せ	197	12	13	13	14	10	20	24	23	9	16	23	20
病 間 合 院 せ	418	60	36	36	28	40	29	35	44	34	29	26	21
訓 練	126	1	3	3	85	17	3	5	5	1	1	2	
試 験	24		1	1	3	16	2				1		
そ の 他	1,713	111	113	103	125	158	160	165	208	156	151	126	137
転 送	114	16	2	11	7	8	9	14	7	6	10	12	12

月別気象状況

平成25年中

区 分	気温℃			風速m/s		相対湿度%		実効湿度%		降水量 mm
	最低	最高	平均	最大	平均	最小	平均	最小	平均	
1月	-4.9	11.3	3.3	20.3	1.9	32.4	74.3	70.8	74.5	58.0
2月	-4.0	15.8	3.9	17.2	2.2	23.8	71.9	67.4	72.3	73.5
3月	-1.6	22.4	9.5	17.7	2.3	19.5	64.4	58.1	64.4	28.5
4月	3.3	25.9	13.2	19.1	2.4	17.9	65.5	58.6	65.3	147.0
5月	6.2	31.4	19.1	16.1	2.5	23.9	65.2	53.6	64.5	105.0
6月	17.1	36.2	23.7	10.8	1.5	27.9	73.9	65.7	74.0	137.0
7月	18.5	37.1	27.5	12.7	1.7	38.6	71.2	62.9	71.2	150.0
8月	19.3	38.1	28.6	11.8	1.8	39.3	70.7	65.9	70.6	85.0
9月	13.1	33.6	24.2	20.7	1.6	30.0	74.4	65.8	75.0	314.0
10月	7.6	30.8	19.3	19.7	1.8	27.6	75.9	67.9	75.3	217.5
11月	-0.9	21.2	10.7	15.4	1.4	31.1	74.6	69.4	74.6	53.0
12月	-3.2	14.7	5.7	17.1	1.8	37.1	75.7	66.5	75.4	58.0
年 間	-4.9	38.1	15.7	20.7	1.9	17.9	71.4	53.6	71.4	1,426.5

(観測地:大和消防出張所)

一宮市の警報・注意報発表基準

警報の種類	基 準	
暴風	平均風速	20m/s
暴風雪	平均風速	20m/s 雪を伴う
大雨(浸水害)	雨量基準	平坦地:3時間雨量 90mm
		平坦地以外:1時間雨量 80mm
洪水	雨量基準	平坦地:3時間雨量 90mm
		平坦地以外:1時間雨量 80mm
	流域雨量指数基準	青木川流域=13
		大江用水流域=14
大雪	複合基準	平坦地:3時間雨量70mmかつ流域雨量指数日光川流域=5
	降雪の深さ	24時間降雪の深さ20cm

注意報の種類	基 準	
強風	平均風速	13m/s
風雪	平均風速	13m/s 雪を伴う
大雨	雨量基準	平坦地:3時間雨量 40mm
		平坦地以外:1時間雨量 30mm
	土壌雨量指数基準	111
洪水	雨量基準	平坦地:3時間雨量 40mm
		平坦地以外:1時間雨量 30mm
	流域雨量指数基準	青木川流域=10 大江用水流域=11
大雪	降雪の深さ	24時間降雪の深さ5cm
雷	落雷等により被害が予想される場合	
乾燥	最小湿度30%で、実効湿度60%	
濃霧	視程	100m
霜	早霜・晩霜期に最低気温3℃以下	
低温	冬期:最低気温-4℃以下	
着氷・着雪	著しい着氷(着雪)が予想される場合	
記録的短時間大雨情報	1時間雨量	100mm

消防団

消防団の現況

消防団は郷土愛護の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震・風水害・火災等の災害時には、市民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には、火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を機に大規模災害発生時の消防力の強化が極めて重要な課題となっております。本市においても平成24年4月1日から大規模災害及び昼間帯の建物火災のみに出動する支援団員制度を導入しました。

平成25年度中における主な活動は、火災出動延べ130回、1,167人、訓練出動延べ2,056回、17,421人でその他、出初式、観閲式、警戒警備等に出動し活躍しています。

このように地域防災の中核として広域な活動を任務とする消防団員に対して本市では、災害補償制度、退職報償金制度等の充実を図り、また、教育訓練の充実、若手リーダーの育成等に努めています。

消防団及び消防団員の状況

平成26年4月1日現在

団 数	分 団 数	定 数	消 防 団 員 現 員 数							
			合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団（支 援 団 員）
1	25	589	502(24)	1	4	25	25	25	25	397(24)

※()内は支援団員数

消防団の活動状況

平成25年度中

区 分	合 計	火 災	訓 練	式 典	警 戒 警 備	水 難 捜 索	風 水 害	点 検
延 出 動 回 数	2,597	130	2,056	54	124		5	228
延 出 動 人 員	21,024	1,167	17,421	608	1,374		28	426

年報酬額

平成26年4月1日現在

階 級	基 本 団 員							支援団員
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	団員
金 額 (円)	125,000	104,500	72,500	54,000	42,000	40,500	39,000	10,000

費用弁償

平成26年4月1日現在

出動区分	災害出動	訓 練 等 出 動	観閲出動	出 初 め 出 動	警戒出動	年 末 警戒出動	機械点検 出 動
金 額 (円)	2,450 以内	1,600 以内	2,350 以内	2,350 以内	1,900 以内	1,950 以内	1,900 以内

消防団員の退職状況

平成25年度中(単位 人)

退職 団員数	21歳 未満	21歳以上 25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳 以上
44	1	1	5	1	6	14	10	6

消防団員の新任状況

平成25年度中(単位 人)

新任 団員数	21歳 未満	21歳以上 25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳 以上
48	4	2	3	12	5	5	4	13

消防団員の職業構成と就業形態

平成26年4月1日現在(単位 人)

職 業 構 成	公 務 員 等	国　　家　　公　　務　　員	
		地　　方　　公　　務　　員	14
		特殊法人等公務員に準ずる職員	12
	そ　　　　　　　　　　の　　　　　　　　　　他		476
合　　　　　　　　　　計			502
就 業 形 態	被　　　　　　雇　　　　　　用　　　　　　者		307
	自　　　　　　営　　　　　　業　　　　　　者		130
	家　　　　族　　　　従　　　　事　　　　者		24
	そ　　　　　　　　　　の　　　　　　　　　　他		41

消防団員の年齢

平成26年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 (支 援 団 員)
合 計	502(24)	1	4	25	25	25	25	397(24)
21歳未満	3						1	2
21歳以上 25歳以下	7							7
26歳以上 30歳以下	16(1)				1	1		14(1)
31歳以上 35歳以下	36(1)						1	35(1)
36歳以上 40歳以下	77(2)			1	2	3	4	67(2)
41歳以上 45歳以下	96(4)			1	1	5	6	83(4)
46歳以上 50歳以下	97(3)			8	9	4	5	71(3)
51歳以上 55歳以下	71(5)		1	6	4	6	5	49(5)
56歳以上 60歳以下	51(2)		1	5	3	4		38(2)
61歳以上 65歳以下	26(3)	1	2		3		3	17(3)
66歳以上 70歳以下	21(3)			4	2	2		13(3)
71歳以上	1							1
平均年齢	46.6	63.0	58.5	53.7	51.4	49.2	46.3	45.5

※()内は支援団員数

消防団員の勤続年数

平成26年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団(支 援 団 員)
合 計	502(24)	1	4	25	25	25	25	397(24)
1年未満から5年	154(6)			1	2	6	5	140(6)
6年から10年	109(2)			2	4	5	7	91(2)
11年から15年	88(7)			5	5	4	7	67(7)
16年から20年	62(4)		1	5	6	5	3	42(4)
21年から25年	41(1)			8	4	3	2	24(1)
26年から30年	26(1)	1	1	3	3	2	1	15(1)
31年から35年	11(1)							11(1)
36年から40年	6(1)		1	1				4(1)
41年から45年	5(1)		1		1			3(1)
46年以上								
平均年数	10.8	30.0	32.3	19.6	17.6	13.0	11.4	10.7

※()内は支援団員数

予 防

火災予防普及活動状況

火災発生防止と火災発生時の早期通報、初期消火、避難誘導等一連の初期消火活動が行われるためには、市民一人ひとりの火災予防に対する理解と認識が必要です。そこで市民の火災予防に対する認識を深めるために、春秋の火災予防運動を中心に市広報誌等に火災予防記事の掲載、また、事業所等の消防訓練時に防火管理体制の確立等幅広い広報活動を展開しています。

(上段:実施回数)
平成25年度中 (下段:参加人員)

区 分	市 広 報 掲 載	消 防 訓 練	研 修 演 会	甲 種 防 火 管 理 新 規 講 習
合 計	21	782 56,403	17 589	5 352
4 月	2	48 1,897	2 29	
5 月		69 4,459	2 16	新規講習 2 197
6 月	2	107 4,517	1 70	
7 月	3	26 1,406		
8 月	2	22 478	2 16	
9 月		105 12,008	3 300	
10 月	2	80 4,343	1 60	
11 月	3	99 10,556		新規講習 2 131
12 月	2	66 3,526	4 91	
1 月	3	27 3,794		
2 月	1	62 5,113	2 7	再講習 1 24
3 月	1	71 4,306		

幼年・少年・婦人消防クラブの現況

平成26年4月1日現在

幼 年 消 防 ク ラ ブ		少 年 消 防 ク ラ ブ		婦 人 消 防 ク ラ ブ	
クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
90	10,507	42	7,661	11	408

街頭消火器設置状況

平成26年4月1日現在(単位 本)

連 区	設 置 本 数	連 区	設 置 本 数
宮 西	342	今 伊 勢 町	642
貴 船	313	奥 町	365
神 山	433	萩 原 町	497
大 志	268	千 秋 町	469
向 山	289	起	117
富 士	334	小 信 中 島	254
葉 栗	430	三 条	303
西 成	851	大 徳	277
丹 陽 町	623	朝 日	388
浅 井 町	522	開 明	232
北 方 町	256	木 曽 川 町	900
大 和 町	979	合 計	10,084



1. 安全栓を抜く



2. ホースを火元に向ける
(ホースの先端を持つ)



3. レバーを強く握り
放射します

街頭消火器火災使用状況

平成25年度中

区 分	建物火災		車両火災		その他の火災	
	件数	本数	件数	本数	件数	本数
合 計	2	3			1	1
4 月						
5 月						
6 月						
7 月						
8 月						
9 月						
10 月						
11 月						
12 月	1	2				
1 月	1	1				
2 月						
3 月					1	1



査察対象物数

平成26年4月1日現在

防火対象物			査察種別	1 種	2 種	3 種	合 計	特 定 防 火 対 象 物	非特定防火対象物
合 計				1,168	1,718	1,266	4,152	1,650	2,502
1	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場 等		6			6	6	
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場		84		64	148	148	
2	イ	キャバレー・カフェ等		1		4	5	5	
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル		23			23	23	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等		2		7	9	9	
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等		16			16	16	
3	イ	待 合 ・ 料 理 店		4			4	4	
	ロ	飲 食 店		72		200	272	272	
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト		205		104	309	309	
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル		23		1	24	24	
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅			743	348	1,091		1,091
6	イ	病 院 ・ 診 療 所		86		21	107	107	
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等		76			76	76	
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等		129		50	179	179	
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等		27		1	28	28	
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 校 等		14	66	9	89		89
8		図 書 館 等			7		7		7
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場							
	ロ	公 衆 浴 場			4	2	6		6
10		車両停車場・船舶・航空機発着場							
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会			10	42	52		52
12	イ	工 場 ・ 作 業 場		32	396	46	474		474
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場		10	4		14		14
14		倉 庫		32	224	12	268		268
15		官 公 署 ・ 事 務 所 等		13	184	138	335		335
16	イ	特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物		310	1	133	444	444	
	ロ	特定以外の複合用途防火対象物		3	76	84	163		163
17		文 化 財 建 造 物			3		3		3
18		ア ー ケ ー ド							

備考

- 1種: 定期点検報告を必要とする、又は消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする特定防火対象物並びに5項ロを除く延べ面積5,000平方メートル以上の非特定防火対象物
- 2種: 消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする非特定防火対象物(第1種を除く)
- 3種: 消防法第8条第1項に定める防火管理者を必要とする防火対象物(上記防火対象物を除く)

中高層建築物数

平成26年4月1日現在

区 分	合 計	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階	18 階	20 階	21 階
合 計	3,463	1,897	751	316	138	90	105	39	52	29	15	15	7	6	1	1	1
宮 西	255	116	55	25	14	14	12	5	4	5	1		3	1			
貴 船	186	101	36	14	9	6	8	2	6	2	1	1					
神 山	397	172	102	19	25	16	23	16	12	4		5	1	2			
大 志	283	149	59	37	13	2	7		4		3	3	1	2	1	1	1
向 山	114	62	30	5	4	3	6	1	2	1							
富 士	122	66	24	16	5	4	3		3			1					
葉 栗	61	31	20	7		3											
西 成	204	124	44	20	4	3	5	2	2								
丹 陽 町	342	205	83	23	15	2	4	4	2	3	1						
浅 井 町	66	36	12	8	2	2	1	4		1							
北 方 町	31	16	6	3		2	3	1									
大 和 町	386	198	82	44	22	20	12	1	5	1	1						
今伊勢町	174	113	23	11	7	4	2	2	2	4	4	1	1				
奥 町	84	59	11	5	2	1	3		2	1							
萩 原 町	78	45	15	6	2	3	4		1	2							
千 秋 町	73	45	21	7													
起	23	17	2	1		1	1						1				
小信中島	79	48	9	11	2	2	1		4	1	1						
三 条	121	70	20	17	5	1	3				2	3					
大 徳	63	27	20	10	2		1	1		1	1						
朝 日	42	19	17	5	1												
開 明	66	49	11	3	1				1	1							
木曾川町	213	129	49	19	3	1	6		2	2		1		1			

各種届出件数

平成25年度中

区 分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消 防 用 設 備 等 着 工 届	267	17	22	19	12	25	19	14	30	23	40	27	19
避 難 ・ 警 報 設 備 着 工 届	166	12	19	17	10	10	10	9	17	17	20	11	14
消 防 用 設 備 等 設 置 届	293	18	23	26	26	19	23	22	13	29	18	30	46
共 同 防 火 管 理 協 議 事 項 届	6						1	1	2				2
消 防 用 設 備 等 の 特 例 適 用 願 書	12	1		1	2		3					1	4
喫 煙 等 の 禁 止 解 除 申 請 書	90	12	17	8	5	1	8	6	4	4	13	2	10
ボ イ ラ ー 等 設 置 届	38	5		2	3	4	2	7	1	2		6	6
指 定 洞 道 等 届	1			1									
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱開始届	163	12	5	6	4	5	28	24	1		19	10	49
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	3,273	306	295	215	210	290	199	314	244	333	294	273	300
防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届	642	161	112	70	82	24	22	32	27	26	23	26	37
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届【 防 火 管 理 】	379	58	42	46	36	24	22	33	21	30	19	23	25
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	145	15	12	12	15	7	12	3	8	11	9	14	27
燃 料 電 池 発 電 設 備 設 置 届													
発 電 設 備 設 置 届	23	2	1		2	1	2	4	1	4		4	2
変 電 設 備 設 置 届	34	8	2		4	1		2	1	1	2	5	8
蓄 電 池 設 備 設 置 届	29	3		1	7	4	1	3	4		2		4
ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届	2			1		1							
火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 ・ た き 火 届	93	3	1	2	4	5	5	3	12	48	4	4	2
煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	30	2		2	4	2	8	2	2	2	3	2	1
溶 接 ・ 溶 断 作 業 届	37	6	1	2	5	3	1	2	2	2	6	3	4
催 物 開 催 届	14	1		4	1	2	1	1	1	2			1
水 道 断 水 ・ 減 水 届													
道 路 工 事 届	3,103	251	286	253	238	258	227	310	293	276	249	213	249
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	23	2	3	2	2	2	2	3	2	1	1	3	
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届	4	1			2			1					
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	3					1		1			1		
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届													
消 防 訓 練 実 施 届	818	61	113	62	26	69	76	115	92	34	44	67	59
防 火 防 災 訓 練 実 施 届	321	135	53	30	7	15	9	15	6	30	6	9	6
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	98	9	6	7	5	12	8	15	7	4	7	5	13
管 理 権 原 者 変 更 届													
自 衛 消 防 組 織 設 置 (変 更) 届 出 書	3			1					1		1		
防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届 出 書	62		2	46				1	2	1	4	2	4
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届【 防 災 管 理 】	13			2				1	1	2	3	2	2
防 災 管 理 点 検 結 果 報 告 書	7		2			3				1			1

用途別同意建築物数

平成25年度中

防 火 対 象 物			合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計			583	38	85	44	55	37	47	59	44	37	51	35	51
1	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場 等													
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	7	1		1	2		1	1	1				
2	イ	キャバレー・カフェー等													
	ロ	遊 技 場 ・ ダンスホール													
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等													
	ニ	カラオケボックス等													
3	イ	待 合 ・ 料 理 店													
	ロ	飲 食 店	8		1			1		1	1	1	3		
4		百 貨 店 ・ マーケット	38	4	2	3		1	7	4	7	3	3	2	2
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	1									1			
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	42	4	6	4	6	6	2	4	1	2	2	2	3
6	イ	病 院 ・ 診 療 所	11	1		1			2	1	1	1	2	1	1
	ロ	特 定 社 会 福 祉 施 設 等	19		1	3		1	1	5	2	1	1	2	2
	ハ	社 会 福 祉 施 設 ・ 保 育 園 等	9				2		3	2		1		1	
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等													
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 校 等	1							1					
8		図 書 館 等													
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場													
	ロ	公 衆 浴 場													
10		車 両 の 停 車 場 等													
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	5	1			1		1		1	1			
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	19		1	2		1	2	3	2	1	3	2	2
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	18		2	2	2	4	2		2	2	1	1	
14		倉 庫	41	2	6	5	2	2	6	4	2	3	4	1	4
15		官 公 署 ・ 事 務 所 等	83	3	36	2	3	4	2	5	9	4	3	7	5
16	イ	特定複合用途防火対象物	14	2	1	2	1	2		2	1	1	1		1
	ロ	特定以外の複合用途 防 火 対 象 物	4					1	1	1				1	
専 用 住 宅			263	20	29	19	36	14	17	25	14	15	28	15	31

危険物施設数

平成26年4月1日現在

区 分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	セ ル フ 給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	販 売 取 扱 所
合 計	475	3	299	61	57	43	98		34	6	173	121	34	51	1
宮 西	11		5	2		1	2				6	3	1	2	1
貴 船	10		5		2		3				5	3	2	2	
神 山	20		15	1	4	2	2		6		5	1		4	
大 志	4		3				3				1			1	
向 山	13		9	1			4		3	1	4	3	1	1	
富 士	9		4			1	3				5	4	1	1	
葉 栗	12		6		1		4			1	6	6	2		
西 成	35		21	2	8	1	6		4		14	13	2	1	
丹 陽 町	41		27	8	1	1	13		4		14	12	3	2	
浅 井 町	16		9	1	1	3	4				7	3	2	4	
北 方 町	18	3	10	1	3		5			1	5	2		3	
大 和 町	37		19	4		2	12			1	18	13	5	5	
今 伊 勢 町	19		15	5	2	5	2		1		4	2	2	2	
奥 町	19		15	2		5	8				4	3	1	1	
萩 原 町	34		17	4	3	1	3		6		17	14	2	3	
千 秋 町	15		8	1	1	2	3		1		7	7	1		
起	8		5	1	2	2					3	1		2	
小 信 中 島	5		4	1	1	2					1	1			
三 条	16		7	1	1	3	2				9	6	4	3	
大 徳	13		10		2	3	4		1		3	1		2	
朝 日	60		47	17	16	3	8		3		13	5		8	
開 明	26		20	6	2	4	6		1	1	6	3	1	3	
木 曽 川 町	34		18	3	7	2	1		4	1	16	15	4	1	

指定数量の倍数・類別危険物施設数

平成26年4月1日現在

区 分		合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	セ ル フ 給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	販 売 取 扱 所
許 可 施 設 数		475	3	299	61	57	43	98		34	6	173	121	34	51	1
倍 数 別	5倍以下	160	1	131	26	10	25	42		26	2	28			27	1
	5倍を超え 10倍以下	108		89	18	18	18	31			4	19	5		14	
	10倍を超え 50倍以下	113	1	65	15	27		21		2		47	38		9	
	50倍を超え 100倍以下	14	1	11	2	1		2		6		2	1		1	
	100倍を超え 150倍以下	9		1				1				8	8			
	150倍を超え 200倍以下	21		1		1						20	20	2		
	200倍を超え 1,000倍以下	50		1				1				49	49	32		
	1,000倍を超え 5,000倍以下															
	5,000倍を超え 10,000倍以下															
	1,0000倍を超えるもの															
類 別	第 1 類	1		1	1											
	第 2 類															
	第 3 類															
	第 4 類	471	3	295	57	57	43	98		34	6	173	121	34	51	1
	第 5 類	1		1	1											
	第 6 類															
	混 在	2		2	2											

危険物施設の設置・変更許可等

平成25年度中

区分		合計	製造所計	貯蔵所								取扱所				
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	セルフ給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所
許可	設置	7		2	1					1		5	3	2	2	
	変更	59	1	14			2	11		1		44	28	8	16	
仮使用承認		40	1	2				2				37	24	8	13	
完成検査	設置	9		4	1			2		1		5	3	2	2	
	変更	57	1	13			2	10		1		43	25	8	18	
仮貯蔵・仮取扱承認		6														

タンク検査状況

平成25年度中

検 査 区 分	容 量	件 数	小 計	合 計
水 張 検 査	1万リットル以下のタンク	8	8	29
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク			
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			
水 圧 検 査	1万リットル以下のタンク	21	21	
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク			
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			

危険物施設届出等状況

平成25年度中

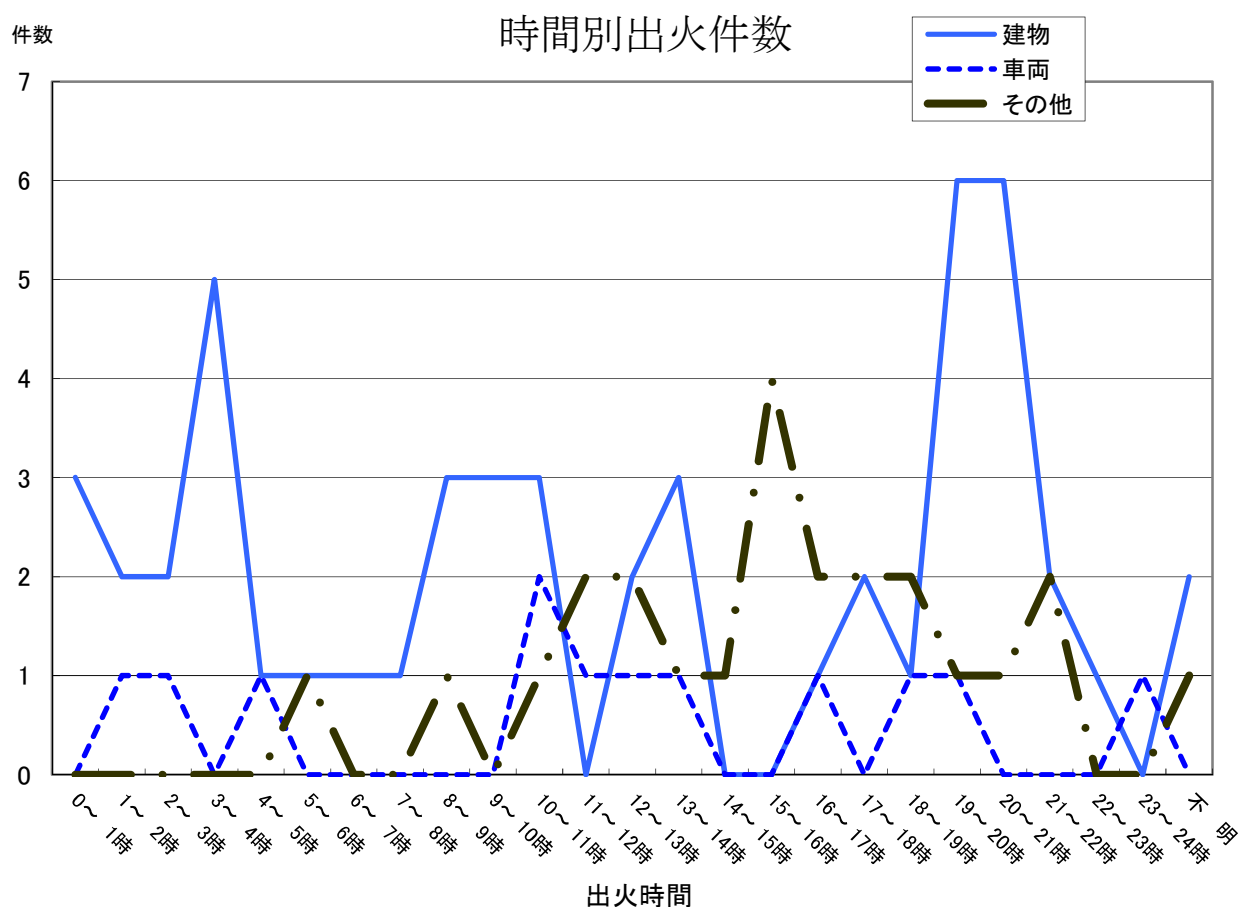
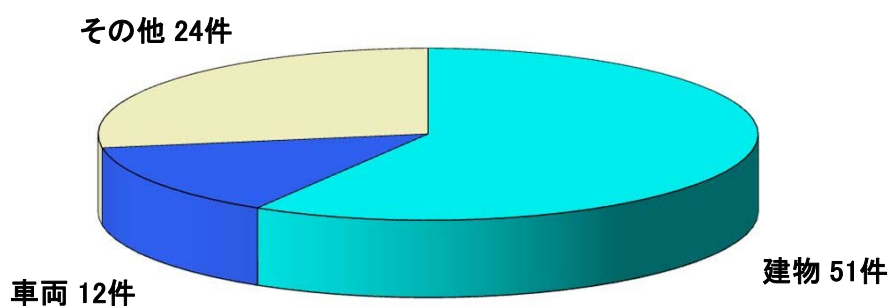
合計	予防規程制定・変更認可申請	譲渡引渡	品名・数量・倍数変更届	廃止届	変更届	事故発生届	休止・再開届	許可書等再交付申請	設置・変更取りやめ届	設置・変更許可申請取下書	保安監督者選任・解任届	資料提出書	火気使用届	軽微工事届	地下貯蔵タンク等に関する計画届
220	9	2	3	19	36	6	4	2			37	67		33	2

火 災

火災の概況

平成25年中

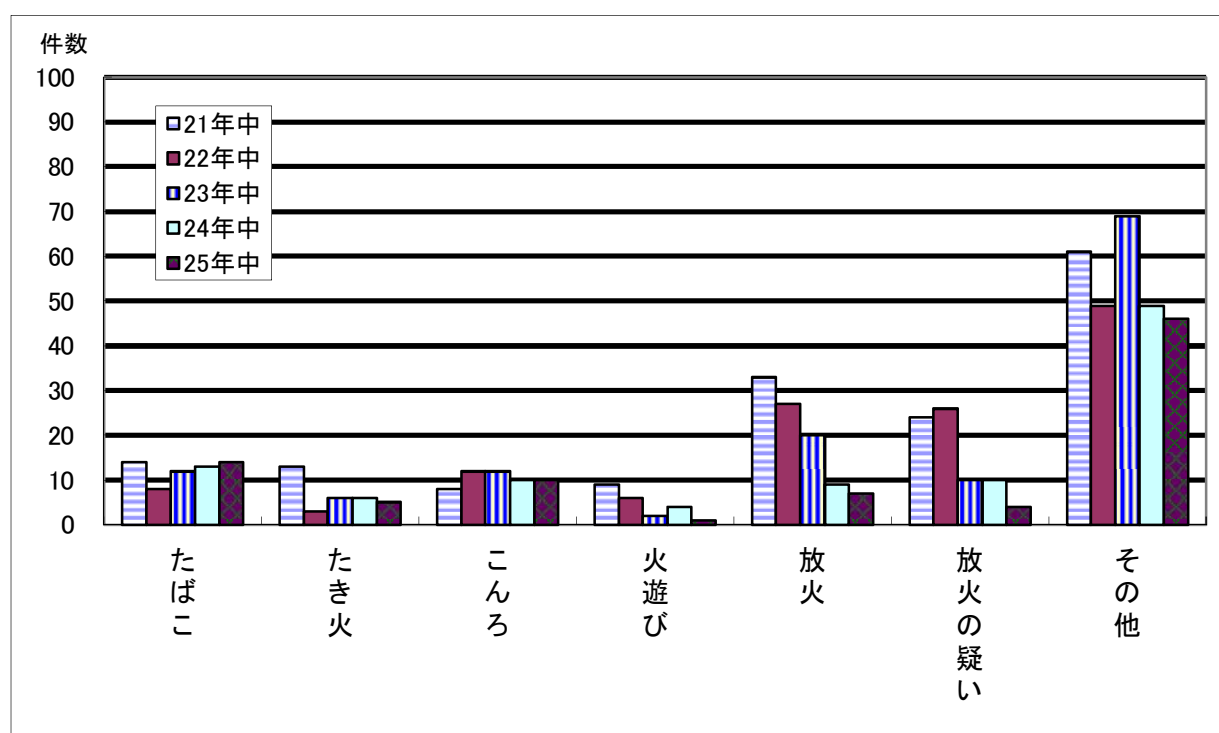
区分	火災 件数	火災種別			焼損棟数 (棟)	り災 世帯数 (世帯)	死者 (人)	負傷者 (人)	建物焼損 床面積 (㎡)	建物焼損 表面積 (㎡)	その他 (㎡)	損害額 (千円)
		建物	車両	その他								
合計	87	51	12	24	79	46	3	6	3,307	334	7,368	201,673



出火原因

(単位 件)

区 分	合 計	たばこ	たき火	こんろ	火遊び	放火	放火の疑い	その他
21年中	162	14	13	8	9	33	24	61
22年中	131	8	3	12	6	27	26	49
23年中	131	12	6	12	2	20	10	69
24年中	101	13	6	10	4	9	10	49
25年中	87	14	5	10	1	7	4	46



建物用途別・原因別件数

平成25年中

区 分	合 計	住 宅 火 災				店 舗	工場・作業場	飲食店	そ の 他
		計	一般住宅	共同住宅	併用住宅				
合 計	51	32	25	6	1	3	9		7
た ば こ	8	7	5	2		1			
こ ん ろ	10	10	7	3					
風呂かまど									
ストーブ	1	1			1				
電気機器	2								2
電灯・電話等の配線	1	1		1					
配線器具	2	2	2						
灯 火									
放 火	5	3	3						2
放火の疑い	3					1			2
そ の 他	10	3	3			1	5		1
不 明	9	5	5				4		

月別等の火災件数

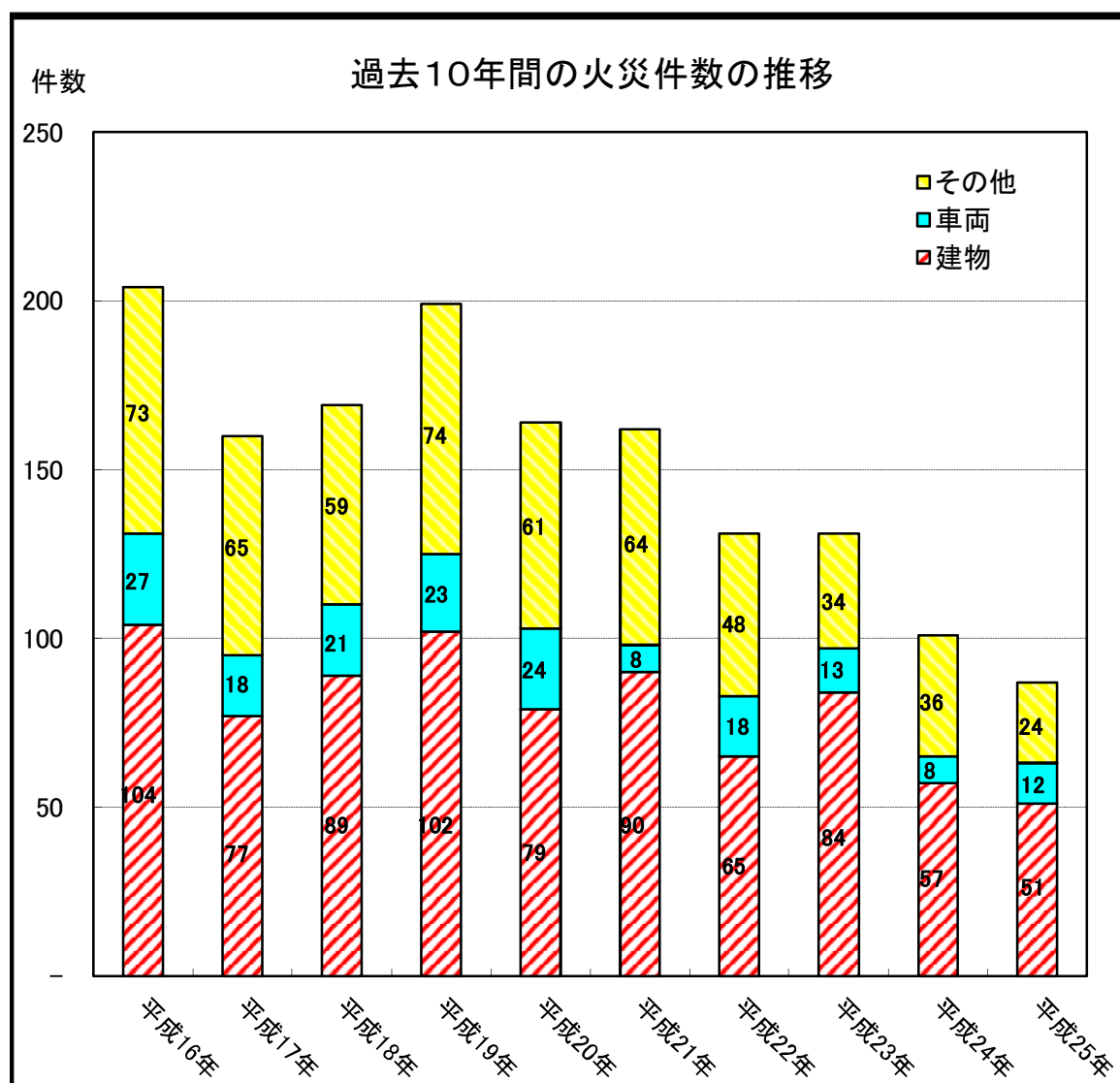
区 分	種 別 件 数					り 災 棟 数				り 災 世 帯			
	合 計	建 物		車 両	そ の 他	全 焼	半 焼	部 焼	ぼ や	全 損	半 損	小 損	り 災 人 員
		延 焼	不 延 焼										
合 計	87	7	44	12	24	15	3	33	28	12	3	31	118
宮 西	2			2									
貴 船	3	1	2					3	1			2	6
神 山	3		2		1				2			1	3
大 志													
向 山	2			1	1								
富 士	2		2					1	1			1	1
葉 栗	6		3	1	2		1	1	1	1		2	6
西 成	7	2	2	1	2	4		5	3	1	1	4	20
丹 陽 町	5		4		1			1	3			2	6
浅 井 町	4		3		1			1	2			1	2
北 方 町	2			1	1								
大 和 町	6		4		2			2	2			1	1
今 伊 勢 町	3		1	1	1				1			1	4
奥 町	2		1	1				1					
萩 原 町	6	1	3		2	3		1	2	3		1	5
千 秋 町	5	1	2	1	1	2		4		2		2	8
起	1				1								
小 信 中 島	5	1	2		2	2	1	6		2	1	2	11
三 条	3		1	1	1				1			1	3
大 徳	5	1	2	1	1	2		6	3	1		4	15
朝 日	6		5		1	1			4	1		4	19
開 明	2		1	1				1				1	2
木 曾 川 町	7		4		3	1	1		2	1	1	1	6
1 月	13		8	2	3	1		3	4	2	1	4	11
2 月	11	4	4	1	2	5		6	4	4		5	24
3 月	8		3	2	3	1			2	1		1	9
4 月	5		3		2	1		1	1	1		2	4
5 月	9		4	4	1			1	3			2	4
6 月	7		4	1	2			2	3			2	4
7 月	7	1	5		1	3	1	4	4	1	2	2	20
8 月	10		4	1	5		1	2	1	1		2	8
9 月	4		2		2				2			2	7
10月	7	1	3	1	2	1		8	3			4	13
11月	1		1			1				1			2
12月	5	1	3		1	2	1	6	1	1		5	12

平成25年中

死傷者		焼損面積(㎡)			損害額(千円)						火災一件 当たりの 損害額 (千円)
死	傷	床 面 積	表 面 積	そ の 他	合 計	建 物	収 容 物	車 両	そ の 他	爆 発	
3	6	3,307	334	7,368	201,673	116,118	81,574	3,907	74		2,318
					159			159			80
			12	4	134	109		12	13		45
					51	1			50		17
				85	126			126			63
			6		111	43	68				56
	1	60		1,568	1,949	1,080	319	550			325
	2	219	39	927	63,097	3,088	59,841	168			9,014
		1	6	396	428	84	344				86
			13	60	95	77	18				24
				228	260			260			130
		4	60	102	818	654	164				136
				69	46		1	45			15
		427	75		32,741	20,501	9,968	2,272			16,371
1		663	10	603	42,972	41,665	1,307				7,162
2	1	164	7	36	10,059	9,214	711	131	3		2,012
				430							
		1,227	30	500	31,108	27,260	3,848				6,222
			1	50	17	1	15	1			6
	1	411	74		13,961	9,386	4,395	180			2,792
		15	1	1,856	25	10	15				4
		1			54	53		1			27
	1	115		454	3,462	2,892	560	2	8		495
1		132	7	950	10,278	9,593	504	181			
2		777	19	263	48,161	46,073	1,929	143	16		
	1	79		1,284	5,058	3,703	1,016	339			
		19		2,286	585	456	129				
			6	3	2,635	42	70	2,523			
			24	867	319	88	63	168			
	1	219	33	204	64,231	4,359	59,870	2			
		486	80	389	31,930	21,637	10,284	1	8		
			1	313	1	1					
	2	345	134	396	10,212	6,083	3,529	550	50		
	1	85			1,960	1,440	520				
	1	1,165	30	413	26,303	22,643	3,660				

過去10年間の火災発生件数

区 分	火 災 件 数				焼損床面積 (㎡)	死傷者		損 害 額 (千 円)
	合計	建物	車両	その他		死者	傷者	
平成16年	204	104	27	73	2,904	2	28	256,268
平成17年	160	77	18	65	4,258	7	9	284,098
平成18年	169	89	21	59	7,986	5	35	823,324
平成19年	199	102	23	74	7,103	9	19	496,587
平成20年	164	79	24	61	2,016	10	15	120,129
平成21年	162	90	8	64	3,945	5	27	166,070
平成22年	131	65	18	48	3,362	8	20	121,566
平成23年	131	84	13	34	2,616	7	15	162,609
平成24年	101	57	8	36	1,818	2	20	116,025
平成25年	87	51	12	24	3,307	3	6	201,673



敬 防

消防車両の配置状況

消防本部・消防署

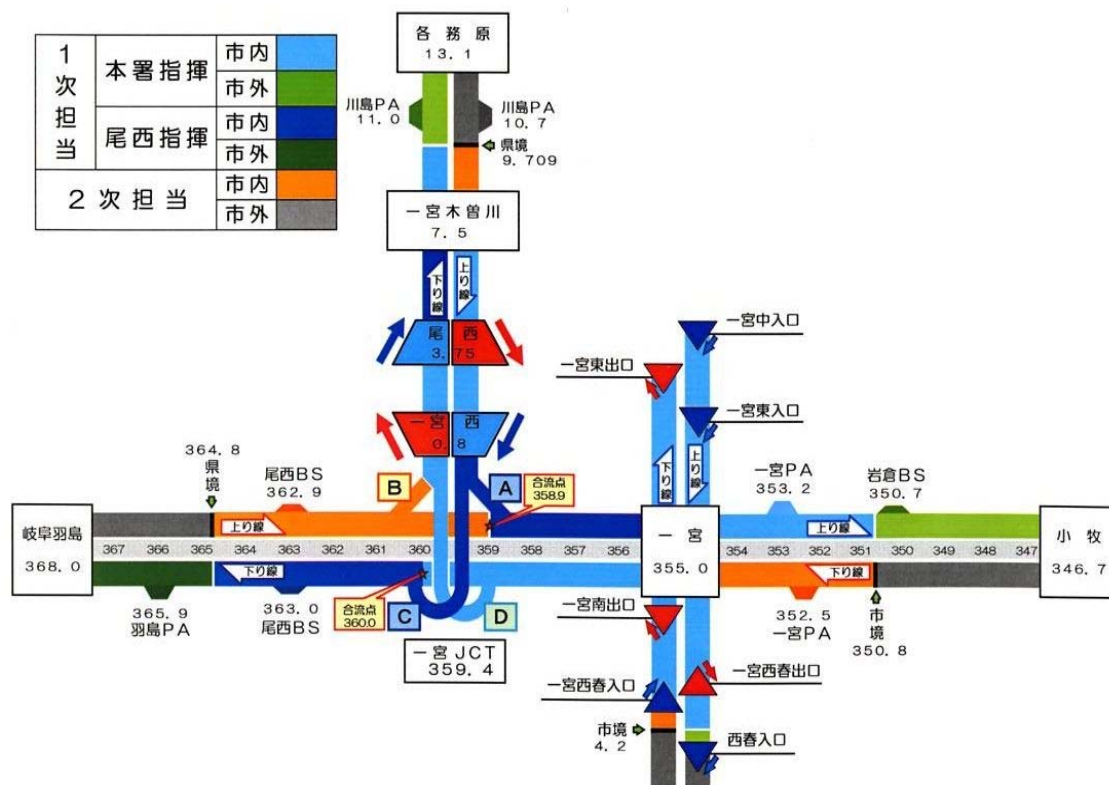
平成26年4月1日現在

区 分		車 両			
一宮消防署	本 部 ・ 本 署	司令車	2台	高所作業車	1台
		指揮車	1台	高規格救急自動車	2台
		水槽付消防ポンプ自動車	3台	広報車	9台
		はしご付消防自動車	1台	搬送車	2台
	西成消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台		
	千秋消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1台		
	浅井消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台		
	八幡消防分署	司令車	1台	高規格救急自動車	1台
		水槽付消防ポンプ自動車	1台	広報車	1台
救助工作車		1台			
大和消防出張所	化学消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	2台	
丹陽消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台	
尾西消防署	尾 西 消 防 署	司令車	1台	高所作業車	1台
		指揮車	1台	高規格救急自動車	2台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台	広報車	3台
		化学消防ポンプ自動車	1台	機材輸送車	1台
		はしご付消防自動車	1台		
	萩原消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	2台	高規格救急自動車	1台
	今伊勢・奥消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	2台	高規格救急自動車	1台
木曽川消防署	木 曽 川 消 防 署	司令車	1台	高規格救急自動車	2台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台	広報車	2台
		救助工作車	1台	搬送車	1台
	葉栗消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
	北方消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台		

高速道路の火災

平成10年12月13日、東海北陸自動車道が一宮 J C T～尾西 I Cの開通により名神高速道路と結ばれ、さらに平成17年 2月11日名古屋高速道路16号線が開通しました。

これに伴い本市の第1次担当区域は、下図に示すとおり広範囲になりました。



＜過去10年間の出動件数＞

区 分	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
計	8(2)	6(1)	7	8	5(1)	3(1)	2	2	(1)	1
車 両	7(1)	6(1)	6	8	4(1)	3(1)	2	2		1
その他	1(1)		1		1				(1)	

()内は管外出動

平成17年2月以降、名古屋高速道路16号線を含む

災害種別の出動状況

平成25年中

区 分			出動件数(件)	出動車両数(台)	出動人員(人)
合 計(1)+(2)+(3)			3,085	3,864	14,387
小 計(1)			87	553	2,024
火 災	一 般 火 災	建 物 火 災	51	442	1,622
		高 層 火 災			
		車 両 火 災	11	21	78
		そ の 他 の 火 災	24	86	310
	特 殊 火 災	地 下 火 災			
		特 殊 車 両 火 災			
		航 空 機 火 災			
	特 別 火 災	指 定 建 物 火 災			
		危 険 物 施 設 火 災			
	高 速 自 動 車 道	車 両 火 災	1	4	14
		車 両 以 外 の 火 災			
		そ の 他 の 火 災			
小 計(2)			131	191	710
警 戒	特 別 ガ ス 漏 れ				
	ガ ス 漏 れ		2	8	31
	怪 煙		4	8	30
	漏 油		93	106	391
	火 災 警 戒		7	21	83
	そ の 他		25	48	175
小 計(3)			2,867	3,120	11,653
焼 損 事 故			25	101	368
誤 報			25	136	490
虚 報			8	58	216
応 援 (火 災 ・ 警 戒)					
救 急 支 援			2,809	2,825	10,579

消防活動用資器材の配置

平成26年4月1日現在

	区 分	合 計	配 置 場 所												
			本 署	西 成	千 秋	浅 井	分 署	大 和	丹 陽	尾 西	萩 原	今伊勢・奥	木 曽 川	北 方	葉 栗
一般救助器具	かぎ付はしご	9	2				1			4			2		
	三連はしご	22	3	1	1	1	2	1	1	3	2	2	3	1	1
	金属製折りたたみはしご 又はワイヤーはしご	5			1		1	1	1		1				
	空気式救助マット	3					1			1			1		
	救命索発射銃	2					1						1		
	サバイバースリング 又は救助用縛帯	38	3	1	2	2	9	1	1	7	2	2	6	1	1
	平担架	7	1				2			3			1		
	バスケット担架	3					1			1			1		
	滑車	50	9				20						21		
	送排風機	2					1						1		
	安全帯	45	16				10			15			4		
	緩降機	2								1			1		
	マンホール救助器具	3	1				1						1		
重量物排除器具	油圧ジャッキ	18	1	1	2	1	2	1	1	2	1	2	2	1	1
	油圧スプレッダ(大型含む)	6			1		1		1	1			1		1
	可搬ウインチ	10	2		1		2			3			2		
	油圧切断機(大型含む)	9			1		2		1	2			2		1
	マット型空気ジャッキ一式	3					1			1			1		
破壊・切断器具	エンジンカッター	14	1		1	1	2	1		2	1	1	2	1	1
	空気鋸	4					2			1			1		
	空気切断機	4					2						2		
	ガス溶断器	2								1			1		
	チェーンソー	4	1				1			1			1		
	鉄線鋏(カッター)	31	6	1	3	1	3	1	1	4	3	3	2	1	2
	万能斧	42	6	1	3	2	6	4	3	3	2	3	6	1	2
	携帯用コンクリート破壊器具	2					1						1		
	削岩機	5	2				1			1			1		
	ハンマドリル	5	1				1			1			2		
測定器	放射線測定器	10	2				1			1	1	1	3	1	
	可燃性ガス測定器	23	3	1	2	1	2	1	1	3	2	2	3	1	1
	有毒ガス測定器	3					1			1			1		
	ポケット線量計	32	5				6			3	5	3	5	5	

平成26年4月1日現在

	区 分	合 計	配 置 場 所												
			本 署	西 成	千 秋	浅 井	分 署	大 和	丹 陽	尾 西	萩 原	今伊勢・奥	木 曽 川	北 方	葉 栗
N B C 対 策	防 毒 マ ス ク	46	10		3		8	3	3	3	3	3	7		3
	化 学 防 護 服	15	5				5						5		
	陽 圧 式 化 学 防 護 服	11	3				5						3		
	放 射 線 保 護 服	6					3						3		
	除 染 シ ャ ワ ー	1	1												
大規模災害	エ ア ー テ ン ト	4	2							1			1		
	画 像 探 索 機	2					1						1		
	熱 画 像 直 視 装 置	2	1							1					
水 難 器 具	潜 水 器 具 一 式	10											10		
	救 命 胴 衣	279	40	12	16	12	25	16	16	38	16	16	36	12	24
	水 中 投 光 器	10											10		
	救 命 浮 環	38	6	1	3	1	3	2	2	5	3	3	6	1	2
	浮 標	3											3		
	救 命 ボ ー ト	32	4	2	2	2	3	2	2	3	2	2	3	2	3
	船 外 機	9	2							2			4		1
呼 吸 保 護 器 具	空 気 呼 吸 器	115	17	4	8	4	18	4	4	17	8	8	15	4	4
	酸 素 呼 吸 器	10					5						5		
	簡 易 呼 吸 器	5					2						3		
隊 員 保 護 器 具	防 塵 マ ス ク	115	15	5	10	5	10	5	5	15	10	10	15	5	5
	防 塵 メ ガ ネ	69	8	4	3	4	10	4	6	3	3	9	5	4	6
	耐 電 手 袋	20	3		1		5		1	4			5		1
	耐 電 衣	4					2						2		
	耐 電 ズ ボ ン	4					2						2		
	耐 電 長 靴	10	3				2			3			2		
	携 帯 警 報 器	83	11	4	7	4	9	4	4	11	7	6	9	3	4
	耐 熱 服	10						5		2			3		
そ の 他	投 光 器 一 式	26	4	1	1	1	5	1	1	3	2	2	3	1	1
	携 帯 投 光 器	109	22	3	7	4	15	7	4	15	4	8	11	2	7
	強力携帯型HIDサーチライト	24	4	1	2	1	2	1	1	4	2	2	2	1	1
	携 帯 無 線 機	39	7	1	3	1	3	2	2	7	3	3	4	1	2
	特定小電力トランシーバー	171	44	4	11	4	12	10	7	28	11	11	18	4	7
	応 急 処 置 用 セ ッ ト	29	4	1	2	1	2	3	2	3	2	2	4	1	2
	加 圧 排 煙 機	2					1						1		

月別庁外業務活動状況

平成25年中

業 務 種 別		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計		29,654	2,726	2,418	2,450	2,582	2,534	2,410	2,443	2,335	2,243	2,453	2,462	2,598
災害 出 動	火災出動	87	13	11	8	5	9	7	7	10	4	7	1	5
	救急出動	15,674	1,494	1,214	1,256	1,211	1,271	1,283	1,438	1,353	1,186	1,213	1,291	1,464
	救急支援	2,809	297	248	239	229	221	202	238	205	202	227	220	281
	救助出動	193	19	15	11	14	14	11	27	10	12	23	20	17
	警戒出動	131	12	12	10	9	9	15	12	10	15	8	9	10
	捜索活動	1							1					
	応援出動													
	誤報等出動	33	1	2	2	1	4	3	2	5	2	3	5	3
焼 損 事 故		25	7	2	2	2	3	1		2	1	1	4	
火 災 調 査		87	13	11	8	5	9	7	7	10	4	7	1	5
演 習 ・ 訓 練	署 所 訓 練	6,034	443	449	381	724	591	508	471	492	479	567	490	439
	全 署 訓 練	30	3	2	1	1	3	4	2	3	4	2	2	3
	合 同 訓 練	9					2	1		1	1	3	1	
広 報 ・ 指 導	消火器取扱 訓 練	80		1	9	1	7	11	4	5	13	11	12	6
	予 防 広 報	327	30	37	135	23	27						75	
	そ の 他	11	1		2		1		1	1	1	1	2	1
特 別 警 戒	警 戒 巡 回	47		18		2			1	1	1	6		18
	行催事警戒	32			24	7			1					
警 防 調 査	消 防 水 利 調 査	553	37	24	41	38	88	54	38	75	59	33	33	33
	防 火 井 戸 性 能 試 験	200		8	56	128	8							
	空地等調査	311	89	27	23	1	1				4	65	63	38
	広 聴 調 査	316	21	14	22	18	26	24	22	21	42	39	35	32
	対象物調査	53	2	1	3	4	3	1	8	3	13	3	6	6
	そ の 他	73	2	4	2	7	3	11	12	11	15	2	2	2
	予 防 査 察	946	166	225	119		1	17	29	15	68	85	83	138
そ の 他	街頭消火器 点 検	580	47	53	47	49	80	65	41	26	47	40	40	45
	消 防 防 災 施 設 点 検	285	21	17	14	29	13	14	16	26	33	52	35	15
	救命講習・ 救急法指導	371	6	16	20	18	53	95	34	34	23	34	22	16
	消防団訓練 指 導	244	2	7	11	46	72	58	14	6	2	9	2	15
	そ の 他	112			4	10	15	18	17	10	12	12	8	6

消防水利の現況

平成26年4月1日現在

区 分	合 計	公 設					私 設					そ の 他			
		小 計	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽 40 100 m ³ 未 満	100 m ³ 以 上	小 計	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽 40 100 m ³ 未 満	100 m ³ 以 上	小 計	プ ール	貯 水 池	そ の 他
合 計	5,095	4,963	3,980	606	356	21	47		4	31	12	85	80	2	3
	3,654	3,611	3,002	232	356	21	43			31	12				
宮 西	153	148	132	5	8	3	1			1		4	4		
	123	122	111		8	3	1			1					
貴 船	132	130	127	1	1	1	1			1		1	1		
	117	116	113	1	1	1	1			1					
神 山	192	187	167	11	7	2	2			2		3	3		
	172	170	155	6	7	2	2			2					
大 志	98	97	88	2	4	3						1	1		
	94	94	87		4	3									
向 山	102	99	89	7	3							3	3		
	79	79	71	5	3										
富 士	152	149	138	6	4	1	1			1		2	2		
	134	133	127	1	4	1	1			1					
葉 栗	279	271	215	37	19		3			1	2	5	5		
	220	217	174	24	19		3			1	2				
西 成	489	478	375	54	48	1	1			1		10	10		
	387	386	302	35	48	1	1			1					
丹 陽 町	372	366	331	26	9		1			1		5	4	1	
	257	256	238	9	9		1			1					
浅 井 町	267	262	197	37	27	1	1			1		4	4		
	209	208	161	19	27	1	1			1					
北 方 町	149	147	110	8	29							2	2		
	119	119	90		29										
大 和 町	452	437	347	51	37	2	8		1	6	1	7	7		
	325	318	256	23	37	2	7			6	1				
今伊勢町	188	177	145	20	12		7			4	3	4	3	1	
	138	131	106	13	12		7			4	3				
奥 町	139	131	107	7	16	1	3			3		5	2		3
	65	62	45		16	1	3			3					
萩 原 町	339	333	261	56	15	1	2		1		1	4	4		
	240	239	200	23	15	1	1				1				
千 秋 町	302	293	237	31	25		2		2			7	7		
	232	232	188	19	25										
起	58	56	40	13	2	1	1				1	1	1		
	33	32	29		2	1	1				1				
小信中島	130	128	91	34	2	1						2	2		
	60	60	54	3	2	1									
三 条	183	179	127	45	4	3	2				2	2	2		
	98	96	83	6	4	3	2				2				
大 徳	127	124	95	26	3		1				1	2	2		
	57	56	42	11	3		1				1				
朝 日	323	319	230	84	5							4	4		
	110	110	94	11	5										
開 明	118	114	93	19	2		1			1		3	3		
	80	79	69	8	2		1			1					
木曾川町	351	338	238	26	74		9			8	1	4	4		
	305	296	207	15	74		9			8	1				

(備考) 下段は消防水利基準に該当するもの

応援協力計画

大規模な災害または特殊な災害が発生し、本市の消防力だけでは対処不可能な場合には関係協力機関に応援協力を要請し、消防隊の効率的な運用によりの確な災害活動を行い、被害を最小限に防止するため一宮市消防本部は、様々な応援協定等を締結しています。

平成26年4月1日現在

応援協定等	
1	大規模災害消防応援実施計画
2	愛知県内広域消防相互応援協定
3	愛知県消防広域応援基本計画
4	愛知県消防活動等援助要綱
5	愛知県緊急消防援助隊受援計画
6	愛知県下高速道路における消防相互応援協定
7	高速道路における消防相互応援協定(名神)
8	高速道路における消防相互応援協定(東海北陸)
9	愛知県防災ヘリコプター支援協定
10	愛知県防災ヘリコプター緊急運航要領
11	ドクターヘリ運航要領
12	尾張西北部地区消防相互応援協定
13	木曽川流域消防相互応援協定
14	大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱
15	消防相互応援協定(岐阜県各務原市)
16	航空事故に伴う災害発生時の連絡調整に関する協定
17	航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定
18	災害活動の協力に関する協定
19	都市ガス災害対策に関する業務協約
20	LPガス災害対策に関する業務協約

緊急消防援助隊の概要

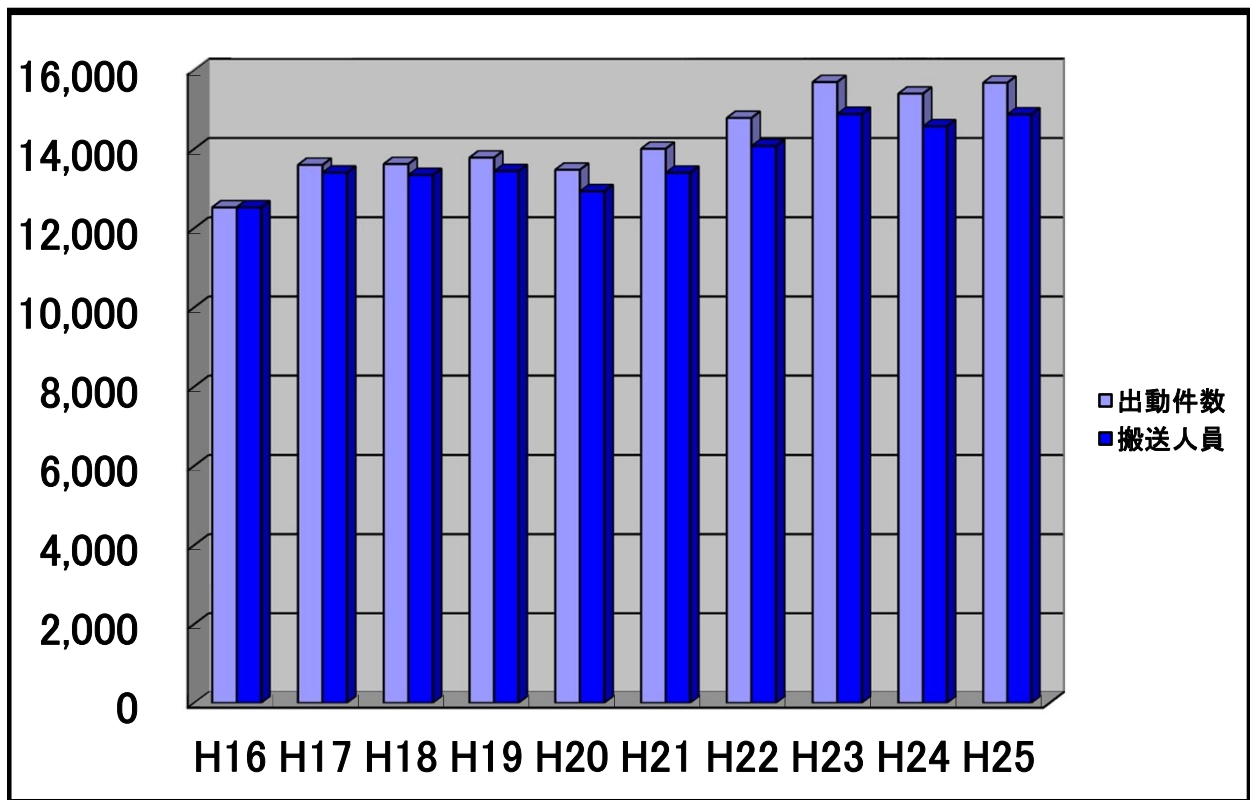
緊急消防援助隊は、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等をより効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため全国の消防本部に協力を得て平成7年6月に創設されたものであり、一宮市消防本部は、消火部隊3隊、救助部隊1隊、救急部隊2隊、後方支援部隊1隊が登録されています。

平成23年3月11日の東日本大震災では、東北地方太平洋沖地震の被災地である宮城県へ消火部隊、救助部隊、後方支援部隊として、延べ29隊、103名を派遣しました。

救 急

救 助

過去10年間の救急活動状況



(上段) 出動件数 / (下段) 搬送人員												
区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
H16	12,528	19	2	10	2,193	104	76	1,459	110	152	7,611	792
	12,529	22		2	2,672	103	79	1,426	105	127	7,337	656
H17	13,600	13		3	2,051	153	106	1,572	100	144	8,453	1,005
	13,407	9		1	2,418	151	112	1,524	97	122	8,136	837
H18	13,622	31		5	1,957	151	108	1,542	107	170	8,564	987
	13,346	35		1	2,279	150	117	1,496	101	143	8,222	802
H19	13,784	31		5	1,948	138	86	1,613	88	160	8,733	982
	13,444	17		1	2,278	138	89	1,567	76	118	8,379	781
H20	13,478	100	6	5	1,792	146	96	1,529	85	159	8,427	1,133
	12,935	12	1	1	2,012	146	104	1,490	79	119	8,071	900
H21	14,007	101		4	1,707	129	80	1,622	86	181	8,912	1,185
	13,403	24		1	1,891	128	83	1,589	80	149	8,547	911
H22	14,786	88		12	1,894	146	104	1,751	72	171	9,430	1,118
	14,078	14		1	2,011	146	106	1,698	62	132	9,061	847
H23	15,692	94	2	5	1,846	168	123	1,829	73	169	10,252	1,131
	14,887	15			1,955	167	128	1,773	67	126	9,781	875
H24	15,400	67		11	1,763	156	140	1,807	76	125	10,189	1,066
	14,574	17		2	1,846	155	140	1,740	64	92	9,713	805
H25	15,674	63		6	1,812	147	128	1,914	76	153	10,380	995
	14,874	8		3	1,902	147	132	1,836	74	107	9,883	782

曜日・月別救急出動件数

平成25年中

事故種別 区 分		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等 輸 送	そ の 他	
曜 日 別	月	11			260	24	12	278	13	22	1,602	145		15	27	2,409
	火	8		1	259	22	7	260	5	24	1,471	145		10	23	2,235
	水	12			260	23	16	264	9	27	1,413	106		9	18	2,157
	木	10		3	280	29	5	263	9	17	1,467	106		10	24	2,223
	金	4			254	26	9	264	14	16	1,425	138		13	19	2,182
	土	10			276	15	25	298	11	23	1,497	86	1	9	27	2,278
	日	8		2	223	8	54	287	15	24	1,505	37		2	25	2,190
合 計		63		6	1,812	147	128	1,914	76	153	10,380	763	1	68	163	15,674
月 別	1月	11			154	9	6	176	6	8	1,025	83		5	11	1,494
	2月	5		1	123	6	6	134	4	15	851	59		4	6	1,214
	3月	5			121	6	10	162	4	2	868	62		6	10	1,256
	4月	4			156	6	10	140	5	11	801	56		8	14	1,211
	5月	3			164	9	11	169	4	21	810	61		2	17	1,271
	6月	5			151	14	11	138	11	13	853	66		2	19	1,283
	7月	6		2	180	23	14	166	8	16	936	60		4	23	1,438
	8月	7			167	21	11	132	7	13	913	56		8	18	1,353
	9月	5		2	128	14	16	157	6	6	776	57		7	12	1,186
	10月	4			149	11	13	176	5	16	773	55		1	10	1,213
	11月	3			162	14	16	161	10	19	817	69	1	7	12	1,291
	12月	5		1	157	14	4	203	6	13	957	79		14	11	1,464

曜日・月別救急搬送人員

平成25年中

事故種別 区 分		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
曜 日 別	月				270	24	12	268	13	16	1,531	153	2,287
	火	1		1	271	22	8	251	6	16	1,403	151	2,130
	水	2			268	23	18	253	9	19	1,350	106	2,048
	木			1	291	29	4	253	8	12	1,395	109	2,102
	金	2			261	25	9	254	14	8	1,363	136	2,072
	土	1			294	16	25	281	11	17	1,426	90	2,161
	日	2		1	247	8	56	276	13	19	1,415	37	2,074
合 計		8		3	1,902	147	132	1,836	74	107	9,883	782	14,874
月 別	1月	1			163	9	7	164	4	6	964	85	1,403
	2月				124	6	6	128	3	9	810	59	1,145
	3月	1			120	5	10	156	4	2	833	62	1,193
	4月				161	6	10	133	5	8	763	58	1,144
	5月				173	9	11	163	4	15	785	63	1,223
	6月				164	14	12	132	11	12	816	68	1,229
	7月	1		1	193	23	15	160	8	11	894	65	1,371
	8月				177	21	10	130	7	8	871	56	1,280
	9月	1		2	134	14	16	154	6	2	735	59	1,123
	10月	2			152	11	13	167	5	11	740	57	1,158
	11月	1			173	15	17	156	11	14	776	68	1,231
	12月	1			168	14	5	193	6	9	896	82	1,374

地区別救急出動件数

平成25年中

地 区		合 計	宮	貴	神	大	向	富	葉	西	丹	浅	北	大	今	奥	萩	千	尾	木	管
事故種別			西	船	山	志	山	士	栗	成	陽	井	方	和	伊勢	町	原	秋	西	曾川	外
合 計		15,674	637	497	813	314	330	544	623	1,359	1,082	909	359	1,714	898	508	771	708	2,291	1,254	63
火 災		63	1	1	2		2	3	5	6	6	1		6	1	1	4	4	14	3	3
自 然 災 害																					
水 難		6		1										1			1		3		
交 通 事 故		1,812	77	60	64	29	47	88	85	149	162	75	30	215	78	43	81	86	302	126	15
労 働 災 害		147	2	5	5	2	4	8	5	15	19	6	3	8	5	6	6	9	29	10	
運 動 競 技		128	3	5	4		1	12	31	11	4	3	2	8	6	5	3	8	14	8	
一 般 負 傷		1,914	60	46	125	46	35	71	77	160	139	111	42	198	90	51	102	84	295	179	3
加 害		76	2	4	5	3	4	2	2	5	13	4		10	5	2	6	1	6	2	
自 損 行 為		153	5	5	6	3	2	4	6	13	11	15	6	12	7	3	9	3	30	13	
急 病		10,380	346	315	559	201	207	336	400	936	715	655	270	1,211	651	357	533	416	1,427	842	3
その他	転院搬送	763	61	46	21	21	25	9	9	53	7	34	2	30	45	38	21	90	151	61	39
	医師搬送	1				1															
	医療機材輸送	68	68																		
	その他	163	12	9	22	8	3	11	3	11	6	5	4	15	10	2	5	7	20	10	

地区別救急搬送人員

平成25年中

地 区 事故種別	合 計	宮	貴	神	大	向	富	葉	西	丹	浅	北	大	今	奥	萩	千	尾	木	管
		西	船	山	志	山	士	栗	成	陽	井	方	和	伊勢	町	原	秋	西	曾川	外
合 計	14,874	535	480	749	292	310	518	590	1,307	1,032	860	340	1,624	859	494	746	683	2,214	1,182	59
火 災	8							1	2	1							2	1	1	
自 然 災 害																				
水 難	3		1										1					1		
交 通 事 故	1,902	77	66	67	31	47	93	88	158	169	81	32	226	76	48	85	87	331	126	14
労 働 災 害	147	2	5	5	2	4	7	5	15	19	6	3	8	5	6	6	10	29	10	
運 動 競 技	132	3	5	4		1	16	32	11	4	3	2	7	6	5	3	8	14	8	
一 般 負 傷	1,836	56	46	117	42	34	69	76	150	133	102	41	190	86	50	99	84	290	168	3
加 害	74	2	4	5	3	4	2	2	6	11	4		8	6	2	7	1	6	1	
自 損 行 為	107	4	4	4	3	2	4	5	11	8	7	5	8	7	1	7	3	17	7	
急 病	9,883	330	303	526	190	193	316	370	901	676	621	255	1,146	627	344	516	397	1,371	798	3
そ の 他	782	61	46	21	21	25	11	11	53	11	36	2	30	46	38	23	91	154	63	39

現場到着所要時間別救急出動件数

平成25年中

現場到着 所要時間 事故種別	3 分 未 満	3 分 以 上 5 分 未 満	5 分 以 上 10 分 未 満	10 分 以 上 20 分 未 満	20 分 以 上	合 計	現場到着 最短所要時間 (分)	現場到着 最長所要時間 (分)	現場到着 平均所要時間 (分)
合 計	261	2,540	11,452	1,418	3	15,674			6.9
急 病	122	1,609	7,735	912	2	10,380	0	21	7.0
交 通 事 故	20	255	1,315	221	1	1,812	0	29	7.3
一 般 負 傷	27	353	1,360	174		1,914	0	17	6.9
そ の 他	92	323	1,042	111		1,568	0	18	6.3

収容所要時間別救急搬送人員

平成25年中

収容所要時間 事故種別	10分未満		10分以上20分未満		20分以上30分未満		30分以上60分未満		60分以上120分未満		120分以上		合計	収容最短所要時間 (分)	収容最長所要時間 (分)	収容平均所要時間 (分)
		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外				
合計			1,360	25	8,434	452	4,989	680	87	45	4	2	14,874			27.9
急病			878	14	5,742	280	3,207	387	53	28	3	2	9,883	11	157	27.7
交通事故			159	3	977	57	755	82	11	2			1,902	12	78	28.7
一般負傷			168	4	1,041	78	620	73	7	4			1,836	12	77	27.6
その他			155	4	674	37	407	138	16	11	1		1,253	10	134	28.4

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員

平成25年中

事故種別 区 分		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
合 計	合 計	14,874	8		3	1,902	147	132	1,836	74	107	9,883	782
	死 亡	277	1		2	13			22		17	219	3
	重 症	1,181	1			68	12	1	60	2	22	835	180
	中等症	5,532	1			347	52	35	613	19	27	3,924	514
	軽 症	7,876	5		1	1,472	83	96	1,141	53	41	4,899	85
	その他	8				2						6	
新 生 児	小 計	94							3			3	88
	死 亡												
	重 症	16										1	15
	中等症	65							1			1	63
	軽 症	13							2			1	10
	その他												
乳 幼 児	小 計	688				60		1	176	1		425	25
	死 亡	2										2	
	重 症	11							2			5	4
	中等症	157				7		1	20			111	18
	軽 症	516				51			154	1		307	3
	その他	2				2							
少 年	小 計	649			1	232	2	70	79	7	5	239	14
	死 亡	2				1					1		
	重 症	12				7	1	1	1			1	1
	中等症	134				29	1	18	13	3	2	61	7
	軽 症	501			1	195		51	65	4	2	177	6
	その他												
成 人	小 計	5,172	3			1,128	120	57	347	57	73	3,192	195
	死 亡	34				2			1		5	26	
	重 症	278				36	9		2	2	14	177	38
	中等症	1,558				190	40	15	97	14	22	1,050	130
	軽 症	3,302	3			900	71	42	247	41	32	1,939	27
	その他												
高 齢 者	小 計	8,271	5		2	482	25	4	1,231	9	29	6,024	460
	死 亡	239	1		2	10			21		11	191	3
	重 症	864	1			25	2		55		8	651	122
	中等症	3,618	1			121	11	1	482	2	3	2,701	296
	軽 症	3,544	2			326	12	3	673	7	7	2,475	39
	その他	6										6	

新 生 児 : 生後28日未満の者
 乳 幼 児 : 生後28日以上、満7歳未満の者
 少 年 : 満7歳以上、満18歳未満の者
 成 人 : 満18歳以上、満65歳未満の者
 高 齢 者 : 満65歳以上の者

救急高度化の推移

区 分	平 成 21 年	平 成 22 年	平 成 23 年	平 成 24 年	平 成 25 年
一 宮 市 人 口	384,706	385,772	386,132	386,390	386,447
救 急 出 動 件 数	14,007	14,786	15,692	15,400	15,674
人 口 1 万 人 当 た り の 出 動 件 数	364	383	406	399	406
高 規 格 救 急 車 運 用 台 数	10	10	10	10	11
救 急 救 命 士 数	69	72	76	80	82
気 管 挿 管 救 命 士 数	8	10	11	12	13
薬 剤 投 与 救 命 士 数	31	39	45	52	57
救 急 搬 送 人 員 (A)	13,403	14,078	14,887	14,574	14,874
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 人 員 (B)	358	356	388	368	367
〔 救急隊により心肺機能停止の時点が 目撃された心肺停止傷病者搬送人員 〕 (C)	(24)	(29)	(19)	(29)	(33)
バ イ ス タ ン ダ ー C P R 件 数 (D)	202	198	247	238	233
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 率 % (B / A)	2.7	2.5	2.6	2.5	2.5
バ イ ス タ ン ダ ー C P R 実 施 率 % (D / B)	56.4	55.6	63.7	64.7	63.5
〔 救急隊により心肺機能停止の時点が目撃された 心肺停止傷病者を除くバイスタンダーCPR実施率% 〕 (D / (B - C))	(60.5)	(60.6)	(66.9)	(70.2)	(69.8)

一 宮 市 人 口 : 各年の4月1日現在

気 管 挿 管 救 命 士 : 医師の具体的指示下において気管挿管の処置を行うことができる救命士

薬 剤 投 与 救 命 士 : 医師の具体的指示下において薬剤投与の処置を行うことができる救命士

バ イ ス タ ン ダ ー C P R : 居合わせた人による心肺蘇生法等の一次救命処置
(胸骨圧迫、人工呼吸などが実施されていたもの)

救急隊員の行った応急処置等件数

区 分		応 急 処 置		止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保				
		対 象 人 数	件 数 合 計						計	※1	※2	※3	※4
合 計	合 計	14,801	69,081	247	2,389	101	365	3,747	728	41	47	186	3
	死 亡	277	1,487	2	14	11	272	273	272	17	36	140	1
	重 症	1,170	6,350	10	112	57	90	832	230	14	10	45	2
	中等症	5,499	26,387	49	739	29	3	1,861	177	8	1	1	
	軽 症	7,847	34,823	186	1,524	4		781	49	2			
	その他	8	34										
急 病	小 計	9,875	45,937	61	206	88	284	2,851	595	33	33	162	
	死 亡	219	1,180	1		9	214	215	214	13	26	123	
	重 症	835	4,612	1	8	47	68	620	184	12	7	39	
	中等症	3,923	18,909	8	92	29	2	1,453	155	6			
	軽 症	4,892	21,208	51	106	3		563	42	2			
	その他	6	28										
交 通 事 故	小 計	1,892	9,546	38	1,345	4	14	341	20	1		2	
	死 亡	13	80	1	10	2	13	13	13	1		2	
	重 症	68	458	5	63	1	1	54	5				
	中等症	347	1,988	11	287			128	1				
	軽 症	1,462	7,014	21	985	1		146	1				
	その他	2	6										
一 般 負 傷	小 計	1,829	8,368	118	669	3	35	179	56	2	12	13	3
	死 亡	22	110				22	22	22	1	9	9	1
	重 症	60	329	2	25	3	12	34	19		2	3	2
	中等症	613	2,861	23	288		1	76	14	1	1	1	
	軽 症	1,134	5,068	93	356			47	1				
	その他												
そ の 他	小 計	1,205	5,230	30	169	6	32	376	57	5	2	9	
	死 亡	23	117		4		23	23	23	2	1	6	
	重 症	207	951	2	16	6	9	124	22	2	1	3	
	中等症	616	2,629	7	72			204	7	1			
	軽 症	359	1,533	21	77			25	5				
	その他												

※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保

※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去

※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、
ラリングアルマスク等を使用しての気道確保

※4 気管挿管による気道確保

平成25年中

区 分		保 温	被 覆	在 宅 療 法	除 細 動	静 脈 路 確 保	そ の 他	血 圧 測 定	心 音 呼 吸 音	血 中 酸 素 飽 和 度	心 電 図	薬 剤 投 与
合 計	合 計	118	963	172	34	77	14,024	14,170	4,983	14,408	12,522	33
	死 亡		1		13	48	228	29	17	23	263	21
	重 症	13	34	30	21	28	1,077	1,090	500	1,106	1,108	12
	中等症	55	213	94		1	5,280	5,406	2,055	5,479	4,946	
	軽 症	50	715	48			7,431	7,637	2,407	7,792	6,199	
	その他						8	8	4	8	6	
急 病	小 計	50	51	162	33	68	9,665	9,487	3,639	9,596	9,073	28
	死 亡				13	45	185	25	12	20	208	19
	重 症	9	4	30	20	23	799	784	398	786	822	9
	中等症	26	18	90			3,871	3,891	1,636	3,915	3,723	
	軽 症	15	29	42			4,804	4,781	1,589	4,869	4,314	
	その他						6	6	4	6	6	
交 通 事 故	小 計	6	310				1,667	1,854	829	1,874	1,244	
	死 亡		1				9	2	1	2	13	
	重 症	1	16				62	68	51	68	63	
	中等症	2	67				327	345	199	347	274	
	軽 症	3	226				1,267	1,437	578	1,455	894	
	その他						2	2		2		
一 般 負 傷	小 計	28	501	9		6	1,661	1,719	308	1,775	1,298	3
	死 亡					2	15	1	2	1	21	2
	重 症	1	11			3	54	49	11	51	53	1
	中等症	11	93	3		1	565	600	106	609	471	
	軽 症	16	397	6			1,027	1,069	189	1,114	753	
	その他											
そ の 他	小 計	34	101	1	1	3	1,031	1,110	207	1,163	907	2
	死 亡					1	19	1	2		21	
	重 症	2	3		1	2	162	189	40	201	170	2
	中等症	16	35	1			517	570	114	608	478	
	軽 症	16	63				333	350	51	354	238	
	その他											

高速道路の救急活動状況

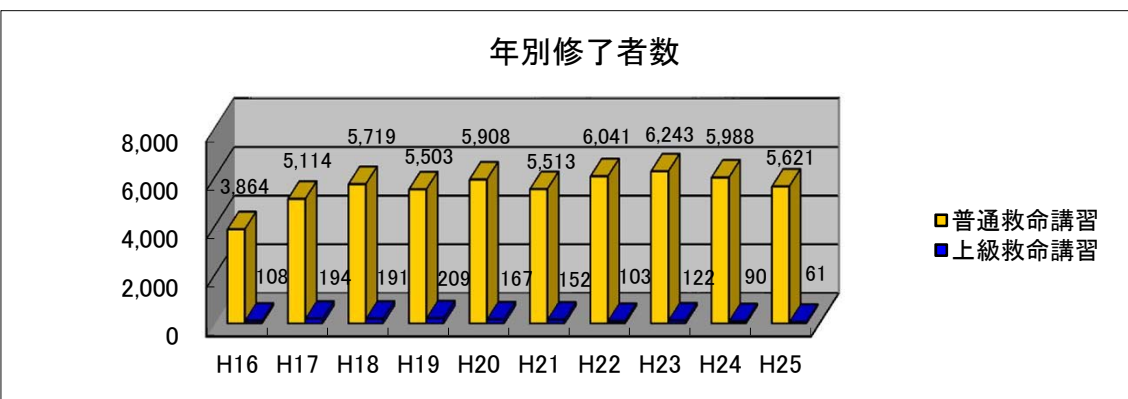
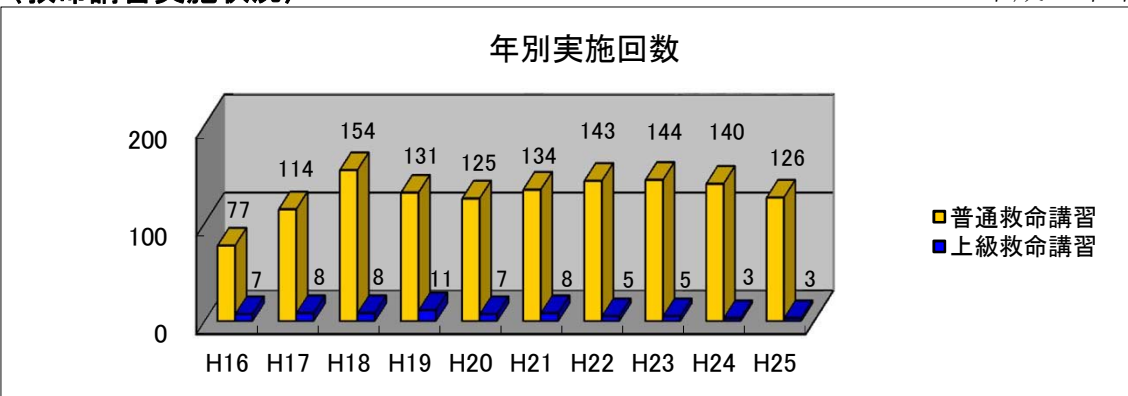
平成25年中

区 分		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出 動 件 数	合 計	84	4	6	9	3	1	6	9	6	7	14	10	9
	交通事故	64	1	3	5	2		5	8	6	5	14	7	8
	急 病	12	2	2	2	1	1		1		1		2	
	一般負傷	3	1		1						1			
	火 災	5		1	1			1					1	1
	市 内	69	1	5	8	3	1	5	7	6	6	13	8	6
	市 外	8	1	1				1				1	2	2
	県 外	7	2		1				2		1			1
	不 搬 送	16		2	1			2	1	1	2	3	1	3
	合 計	86	4	4	10	4	1	5	12	6	5	16	10	9
搬 送 人 員	交通事故	71	1	2	7	3		5	11	6	3	16	8	9
	急 病	12	2	2	2	1	1		1		1		2	
	一般負傷	3	1		1						1			
	火 災													
	性 男	56	1	3	3	3	1	5	10	4	3	12	7	4
	性 女	30	3	1	7	1			2	2	2	4	3	5
	死 亡	2									2			
	重 症	5	1		1						2		1	
	中 等 症	16		2		2		1	1	2		3	4	1
	軽 症	63	3	2	9	2	1	4	11	4	1	13	5	8
	そ の 他													

応急手当等の普及活動状況

〈救命講習実施状況〉

平成25年中



〈一般救急講習実施状況〉

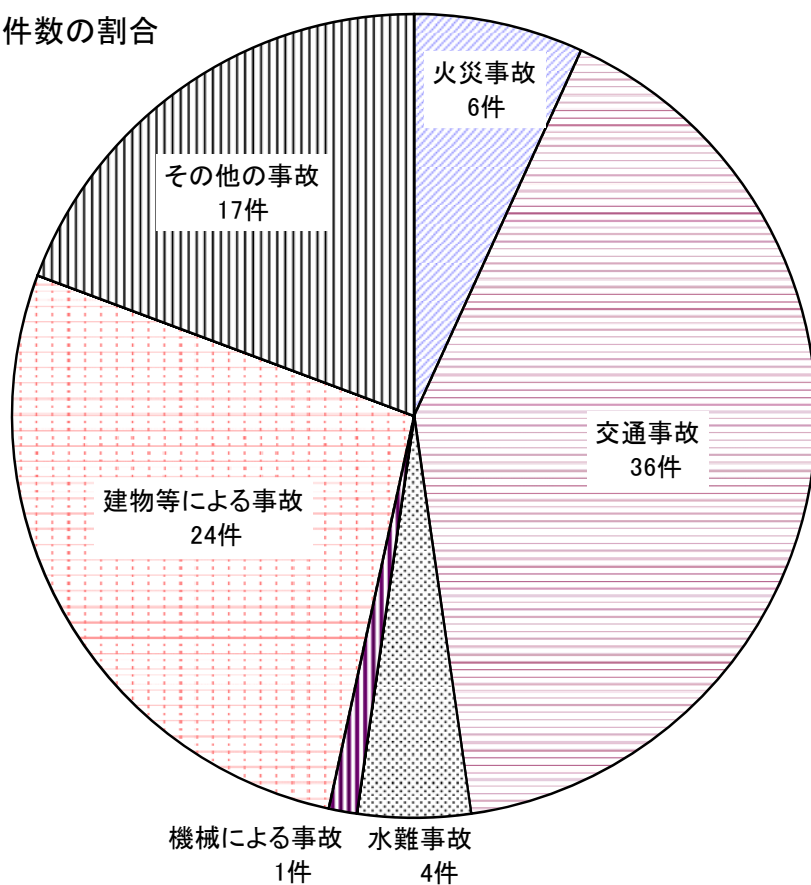
区	分	合 計	学 校	保 育 園	防 災 会	各種団体	事 業 所	そ の 他
平成16年	実施回数	103	44	5	1	35	18	
	参加人員	5,079	2,113	156	200	1,822	788	
平成17年	実施回数	137	72	6	3	32	24	
	参加人員	6,900	3,837	109	457	1,693	804	
平成18年	実施回数	182	77	1	21	45	38	
	参加人員	8,573	4,306	20	1,000	2,114	1,133	
平成19年	実施回数	155	71	5	20	29	25	5
	参加人員	6,188	3,275	108	782	1,229	663	131
平成20年	実施回数	186	75	4	6	53	33	15
	参加人員	7,729	3,244	46	1,428	1,953	725	333
平成21年	実施回数	225	62	6	14	92	37	14
	参加人員	8,095	2,611	112	544	3,641	940	247
平成22年	実施回数	220	78	5	20	70	37	10
	参加人員	9,987	3,762	86	2,606	2,318	1,000	215
平成23年	実施回数	210	80	13	27	54	34	2
	参加人員	8,609	3,191	283	1,705	1,542	878	1,010
平成24年	実施回数	232	89	12	31	55	44	1
	参加人員	10,156	3,999	234	3,052	1,898	930	43
平成25年	実施回数	237	88	9	31	60	45	4
	参加人員	8,042	3,373	125	1,645	1,605	1,191	103

救助活動状況

平成25年中

区 分	出動件数	出 動		活動件数	活動人員	救助人員
		台 数	人 員			
合 計	193	1,210	4,984	88	967	86
火 災 事 故	43	568	2,662	6	36	1
交 通 事 故	72	314	1,128	36	441	43
水 難 事 故	9	48	170	4	68	3
自然災害・風水害						
機械による事故	2	8	28	1	13	1
建物等による事故	32	128	475	24	224	22
ガス及び酸欠事故						
破 裂 事 故						
そ の 他 の 事 故	35	144	521	17	185	16

活動件数の割合



月別救助出動状況

平成25年中

区 分		合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	出動件数	193	19	15	11	14	14	11	27	10	12	23	20	17
	出動人員	4,984	630	436	298	365	333	288	688	332	225	495	382	512
火 災 事 故	出動件数	43	8	4	3	3	3	3	6	4	1	3	1	4
	出動人員	2,662	470	266	184	190	167	161	348	236	56	194	83	307
交 通 事 故	出動件数	72	8	6	4	3	3	3	8	2	7	8	12	8
	出動人員	1,128	117	92	58	54	44	47	128	30	107	123	196	132
水 難 事 故	出動件数	9		1				1	4	1	1			1
	出動人員	170		20				21	75	21	17			16
自然災害・風水害	出動件数													
	出動人員													
機 械 に よ る 事 故	出動件数	2			1			1						
	出動人員	28			13			15						
建物等による事故	出動件数	32	2	3	1	2	4	1	2	1	2	8	5	1
	出動人員	475	28	43	15	31	60	15	30	15	31	119	74	14
ガス及び酸欠事故	出動件数													
	出動人員													
破 裂 事 故	出動件数													
	出動人員													
そ の 他 の 事 故	出動件数	35	1	1	2	6	4	2	7	2	1	4	2	3
	出動人員	521	15	15	28	90	62	29	107	30	14	59	29	43

過去5年間の救助活動状況

区 分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
出 動 件 数	203	195	214	163	193
活 動 件 数	99	88	99	67	88
活 動 人 員	1,153	1,018	1,063	732	967
救 助 人 員	99	76	90	67	86

救助訓練等実施状況

平成25年度中

(陸上)

7月12日	電気自動車(EV)救助研修	(木曽川消防署)
9月4日	列車事故を想定した訓練	(東加賀野井字川原地内)
11月2日	車両構造講習会及び訓練会	(東海旅客鉄道株式会社名古屋工場)
12月5・6日	調整池を使用した低所救助訓練	(東海北陸自動車道高架下 木曽川調整池)
12月13日	第16回全国消防救助シンポジウム	(東京都 日比谷公会堂)
1月25日	解体予定建物を利用した救助訓練	(ピアゴ尾西店)
2月17・18日	電柱事故救助合同訓練	(中部電力一宮営業所 配電訓練所)

(水難)

4月15・22日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
5月1・2日	潜水基本技術訓練	(航空自衛隊小牧基地体育訓練施設)
5月8・9日	救命ボート取扱操縦訓練	(北方町北方字神明地内 木曽川)
5月21日	岐阜県防災航空隊及び3消防本部合同水難救助訓練	(羽島市正木町地内 木曽川右岸)
5月22日	尾張西北部消防合同水難救助訓練	(稲沢市祖父江町地内 木曽川左岸)
6月4日	一宮警察署・一宮市消防本部合同災害警備訓練(風水害)	(富田字砂原地内 木曽川左岸)
6月18・29日	救命ボート取扱操縦訓練	(北方町北方字神明地内 木曽川)
6月24・25日	潜水各種検索訓練	(富田字砂原地内 木曽川左岸)
7月1・2日	水面救助訓練(救命策発射銃訓練含む)	(北方町北方字神明地内 木曽川)
8月19日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
9月1～4日	水面救助訓練(警防隊及び救助隊)	(富田字砂原地内 一宮市尾西プール)
9月2・4日	潜水基本技術訓練	(富田字砂原地内 一宮市尾西プール)
9月12・13日	日光川を使用した水難救助訓練	(萩原町戸苅及び明地地内 日光川付近一帯)
9月24日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
9月25日	二市消防合同水難救助訓練	(富田字砂原地内 木曽川左岸)
10月21日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
12月2・3日	ドライスーツを使用した潜水訓練	(航空自衛隊小牧基地体育訓練施設)
1月20・21日	ドライスーツを使用した潜水訓練及び水面救助訓練	(航空自衛隊小牧基地体育訓練施設)
1月27日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
2月17日		
3月10日		

消 防 五 則

- 一、自分の安全はまず自分から確保します
- 一、平素から業務に耐える気力、体力を錬成します
- 一、いかなる事態においても沈着冷静な行動をとります
- 一、各種資器材の機能、性能を把握し安全操作に習熟します
- 一、災害現場は危険が伴うことを自覚し常に警戒心を保持します

制定 平成2年1月1日

制 定 主 旨

「市民の生命・身体及び財産を災害から守る」という消防の組織目標であり重大な使命の遂行には、常に安全に対する配慮と認識が重要です。

安全管理は、任務遂行を前提とする積極的行動対策と考え制定しました。

2014 年版 消防年報（第 64 号）

平成 26 年 7 月発行

編集・発行

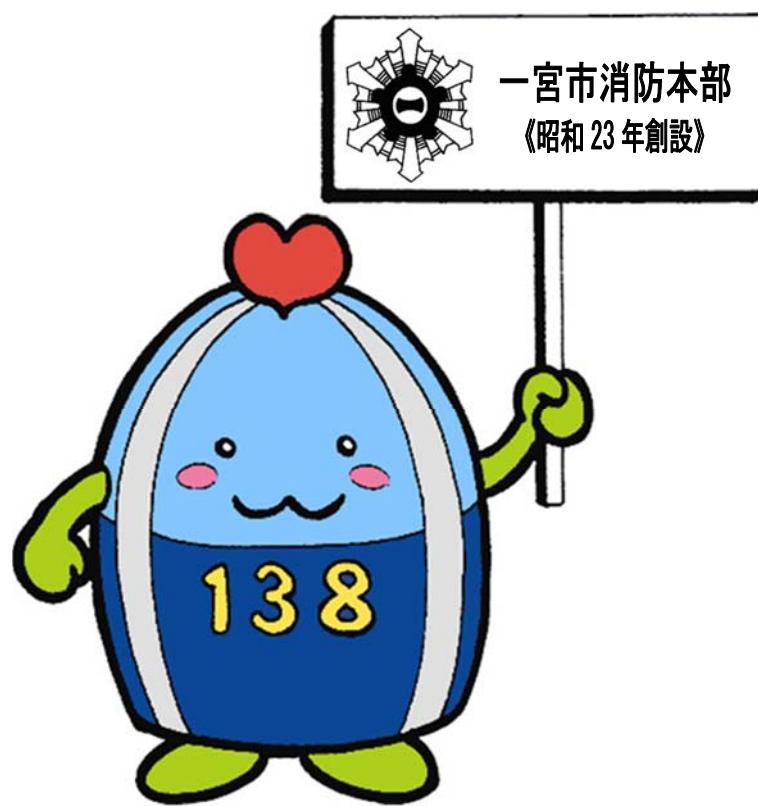
一宮市消防本部総務課

〒491-0862

一宮市緑1丁目1番10号

TEL 0586-72-1191

FAX 0586-71-1191



一宮市マスコットキャラクター” いちみん”